



# 調 査 の 概 要

- 1 調査の目的 我が国の人口動態事象を把握し、人口及び厚生労働行政施策の基礎資料を得ることを目的とする。
- 2 調査の対象及び客体 「戸籍法」及び「死産の届出に関する規程」により届け出られた出生、死亡、婚姻、離婚及び死産の全数を対象としているが、本概況では平成19年に日本において発生した日本人の事象を客体とした。
- 3 調査の期間 平成19年1月1日～平成19年12月31日
- 4 調査の方法 市区町村長は、出生、死亡、婚姻、離婚及び死産の届書に基づいて人口動態調査票を作成する。
- 5 報告の系統
 

市区町村	—	保健所	—	都道府県	—	厚生労働省
		保健所を 設置する市・特別区				
- 6 結果の集計 集計は、厚生労働省大臣官房統計情報部で行った。

## <利用上の注意>

### 1 印刷公表している人口動態統計の資料は次のとおりである。

<p>人口動態統計速報 数値：調査票を作成した数</p> <p>集計客体：日本における日本人及び外国人、並びに外国における日本人 (いずれも前年以前発生のもを含む)</p> <p>公表：毎月(調査月の約2か月後)</p>	<p>人口動態統計月報 数値：概数</p> <p>集計客体：日本における日本人 (前年以前発生ものを除く)</p> <p>公表：毎月(調査月の約5か月後)</p> <p>※：毎年(年間合計) (調査年の翌年6月)</p>	<p>人口動態統計年報 数値：確定数(概数に修正を加えたもの)</p> <p>集計客体：日本における日本人 (日本における外国人、外国における日本人及び前年以前発生ものは別掲)</p> <p>公表：毎年(調査年の翌年9月)</p>
--	--	---

※本概況は中央の破線の部分である。

### 2 表章記号の規約

計数のない場合	—
統計項目のありえない場合	・
計数不明又は計数を表章することが不適切な場合	…
比率が微小(0.05, 0.00005未満)の場合	0.0, 0.0000
減少数(率)の場合	△

なお、掲載の数値は四捨五入してあるので、内訳の合計が「総数」に合わない場合がある。

### 3 用語の説明

- 自 然 増 加：出生数から死亡数を減じたもの
- 乳 児 死 亡：生後1年未満の死亡
- 新 生 児 死 亡：生後4週未満の死亡
- 早期新生児死亡：生後1週未満の死亡
- 死 産：妊娠満12週以後の死児の出産
- 周 産 期 死 亡：妊娠満22週以後の死産に早期新生児死亡を加えたもの
- 合計特殊出生率：その年次の15歳～49歳までの女性の年齢別出生率を合計したもので、1人(期間合計)の女性が仮にその年次の年齢別出生率で一生の間に生むとしたときの子ども数(特殊出生率)に相当する。(実際に1人の女性が一生の間に生む子ども数はコーホート合計特殊出生率である。)

- 4 この概況で使用した数値は、平成18年以前は確定数である。
- 5 昭和47年以前は沖縄県を含まない数値である。昭和19～21年は資料不備のため省略した。
- 6 都道府県別の表章は、出生は子の住所、死亡は死亡者の住所、死産は母の住所、婚姻は夫の住所、離婚は別居する前の住所による。

## 結 果 の 概 要

### 1 結果の要約

#### (1) 出生数は減少

出生数は108万9745人で、前年の109万2674人より2929人減少し、出生率（人口千対）は8.6で、前年の8.7を下回った。

出生数を母の年齢（5歳階級）別にみると、前年増加に転じた20～24歳、30～34歳で再び減少し、35歳以上の各階級では引き続き増加した。

また、出生順位別にみると、第1子、第2子は減少したが、第3子は増加した。

#### (2) 死亡数は増加

死亡数は110万8280人で、前年の108万4450人より2万3830人増加し、死亡率（人口千対）は8.8で、前年の8.6を上回った。

死因別にみると、死因順位の第1位は悪性新生物、第2位は心疾患、第3位は脳血管疾患となっている。全死亡者に占める割合はそれぞれ、30.3%、15.8%、11.5%であり、死亡者のおよそ3人に1人は悪性新生物で死亡したことになる。

#### (3) 自然増加数は減少

出生数と死亡数の差である自然増加数は△1万8535人で、前年の8224人より2万6759人減少し、自然増加率（人口千対）は△0.1で、前年の0.1を下回り、プラスに転じた前年から、再びマイナスとなった。

出生数が死亡数を下回った県は前年と同じ36道府県であり、出生数が死亡数を上回った県は、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、静岡県、愛知県、滋賀県、大阪府、兵庫県、福岡県、沖縄県の11都府県となっている。

#### (4) 死産数は減少

死産数は2万9323胎で、前年の3万911胎より1588胎減少し、死産率（出産（出生＋死産）千対）は26.2で、前年の27.5を下回った。死産率のうち、自然死産率は11.7で、前年の11.9を下回った。人工死産率は14.5で、前年の15.6を下回っており、低下幅は自然死産率より大きい。

## (5) 婚姻件数は減少

婚姻件数は71万9801組で、前年の73万971組より1万1170組減少し、婚姻率（人口千対）は5.7で前年の5.8を下回った。

平均初婚年齢は夫30.1歳、妻28.3歳で、夫、妻ともに前年より0.1歳上昇している。

## (6) 離婚件数は減少

離婚件数は25万4822組で、前年の25万7475組より2653組減少し、離婚率（人口千対）は2.02で、前年の2.04を下回った。

表1 人口動態総覧

	実 数			率		平均発生間隔	
	平成19年	平成18年	対前年増減	平成19年	平成18年	平成19年	平成18年
出 生	1 089 745	1 092 674	△ 2 929	8.6	8.7	分 秒 29"	分 秒 29"
死 亡	1 108 280	1 084 450	23 830	8.8	8.6	28"	29"
乳児死亡	2 828	2 864	△ 36	2.6	2.6	185' 51"	183' 31"
新生児死亡	1 433	1 444	△ 11	1.3	1.3	366' 47"	363' 59"
自然増加	△ 18 535	8 224	△ 26 759	△ 0.1	0.1	…	…
死 産	29 323	30 911	△ 1 588	26.2	27.5	17' 55"	17' 0"
自然死産	13 117	13 424	△ 307	11.7	11.9	40' 4"	39' 9"
人工死産	16 206	17 487	△ 1 281	14.5	15.6	32' 26"	30' 3"
周産期死亡	4 903	5 100	△ 197	4.5	4.7	107' 12"	103' 4"
妊娠満22週 以後の死産	3 852	4 047	△ 195	3.5	3.7	136' 27"	129' 52"
早期新生児 死 亡	1 051	1 053	△ 2	1.0	1.0	500' 6"	499' 9"
婚 姻	719 801	730 971	△ 11 170	5.7	5.8	44"	43"
離 婚	254 822	257 475	△ 2 653	2.02	2.04	2' 4"	2' 2"

	平成19年	平成18年
合計特殊出生率	1.34	1.32

注：出生・死亡・自然増加・婚姻・離婚率は人口千対。乳児・新生児・早期新生児死亡率は出生千対。死産率は出産（出生＋死産）千対。周産期死亡率及び妊娠満22週以後の死産率は出産（出生＋妊娠満22週以後の死産）千対である。

## 2 出生

### (1) 出生数

平成19年の出生数は108万9745人で、前年の109万2674人より2929人減少した。

第1次ベビーブーム期(昭和22～24年)に生まれた女性が出産したことにより、昭和46～49年には第2次ベビーブームとなり、1年間に200万人を超える出生数であった。昭和50年以降は毎年減少し続け、平成4年以降は増加と減少を繰り返しながら、ゆるやかな減少傾向であったが、平成13年から5年連続で減少し、平成18年は6年ぶりに増加したが、平成19年は再び減少した。(図1)

出生率(人口千対)は8.6で、前年の8.7を下回った。

出生数を母の年齢(5歳階級)別にみると、平成19年は、前年増加に転じた20～24歳、30～34歳で再び減少し、34歳以下の各階級で減少となったが、35歳以上の各階級では増加となった(表2-1)。

出生順位別にみると、いずれの出生順位についても平成13年から5年連続で減少し、平成18年は6年ぶりに増加となったが、平成19年は第1子、第2子は再び減少に転じ、第3子以上では6821人の増加となっている(表2-2)。

第1子出生時の母の平均年齢は上昇傾向にあり、平成19年は29.4歳である(表3)。

図1 出生数及び合計特殊出生率の年次推移

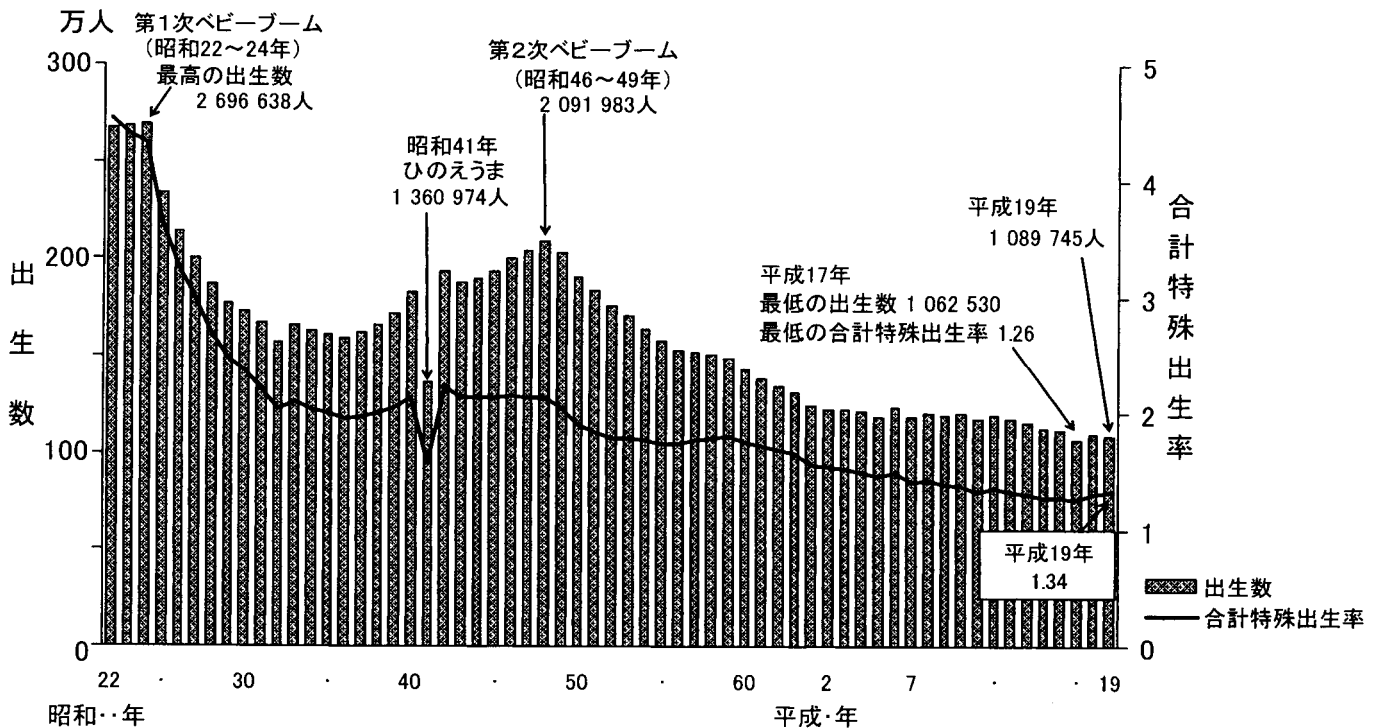


表2-1 母の年齢（5歳階級）別にみた出生数

母の年齢	出生数				対前年増減		
	平成16年	平成17年	平成18年	平成19年	17年-16年	18年-17年	19年-18年
総数	1 110 721	1 062 530	1 092 674	1 089 745	△ 48 191	30 144	△ 2 929
～14歳	45	42	41	39	△ 3	△ 1	△ 2
15～19	18 546	16 531	15 933	15 206	△ 2 015	△ 598	△ 727
20～24	136 486	128 135	130 230	126 172	△ 8 351	2 095	△ 4 058
25～29	370 220	339 328	335 771	324 020	△ 30 892	△ 3 557	△ 11 751
30～34	415 903	404 700	417 776	412 587	△ 11 203	13 076	△ 5 189
35～39	150 222	153 440	170 775	186 554	3 218	17 335	15 779
40～44	18 790	19 750	21 608	24 552	960	1 858	2 944
45～49	483	564	522	590	81	△ 42	68
50歳以上	16	34	9	19	18	△ 25	10

注：総数には母の年齢不詳を含む。

表2-2 出生順位別にみた出生数の年次推移

出生順位	出生数				対前年増減		
	平成16年	平成17年	平成18年	平成19年	17年-16年	18年-17年	19年-18年
総数	1 110 721	1 062 530	1 092 674	1 089 745	△ 48 191	30 144	△ 2 929
第1子	537 913	512 412	524 581	519 743	△ 25 501	12 169	△ 4 838
第2子	417 647	399 307	408 531	403 619	△ 18 340	9 224	△ 4 912
第3子以上	155 161	150 811	159 562	166 383	△ 4 350	8 751	6 821

表3 第1子出生時の母の平均年齢の年次推移

	昭和40年	50	60	平成7年	16	17	18	19
平均年齢	25.7 歳	25.7	26.7	27.5	28.9	29.1	29.2	29.4

## (2) 合計特殊出生率

平成 19 年の合計特殊出生率は 1.34 で、前年の 1.32 を上回った。

昭和 40 年代は、第 2 次ベビーブーム期（昭和 46～49 年）を含め、ほぼ 2.1 台で推移していたが、昭和 50 年に 2.00 を下回ってから低下傾向となり、前年は 6 年ぶりに上昇し、平成 19 年は 2 年連続で上昇した。（統計表第 2 表、図 2）

年齢（5 歳階級）別に内訳をみると、前年上昇に転じた 20 歳代が再び低下となったが、30 歳以上の各階級では引き続き上昇した。この結果、平成 18 年に続き、30～34 歳が 25～29 歳を上回り、35～39 歳が 20～24 歳を上回った。（表 4-1、図 2）

出生順位別にみると、いずれも前年に引き続き上昇した（表 4-2）。

都道府県別にみると、沖縄県（1.75）、宮崎県（1.59）、熊本県（1.54）、鹿児島県（1.54）等が高く、東京都（1.05）、京都府（1.18）、北海道（1.19）等大都市を含む地域が低くなっている（表 5、図 3）。

表4-1 合計特殊出生率の年次推移(年齢階級別内訳)

年 齢	合 計 特 殊 出 生 率							対前年増減		
	昭和50年	60	平成7年	16	17	18	19	17年-16年	18年-17年	19年-18年
総 数	1.91	1.76	1.42	1.29	1.26	1.32	1.34	△ 0.03	0.06	0.02
15～19 歳	0.0205	0.0229	0.0185	0.0275	0.0253	0.0250	0.0246	△ 0.0022	△ 0.0003	△ 0.0004
20～24	0.5128	0.3173	0.2022	0.1859	0.1823	0.1871	0.1831	△ 0.0036	0.0048	△ 0.0040
25～29	0.9331	0.8897	0.5880	0.4388	0.4228	0.4353	0.4341	△ 0.0160	0.0125	△ 0.0012
30～34	0.3569	0.4397	0.4677	0.4364	0.4285	0.4516	0.4613	△ 0.0079	0.0231	0.0097
35～39	0.0751	0.0846	0.1311	0.1755	0.1761	0.1886	0.2025	0.0006	0.0125	0.0139
40～44	0.0106	0.0094	0.0148	0.0239	0.0242	0.0286	0.0305	0.0003	0.0044	0.0019
45～49	0.0004	0.0003	0.0004	0.0006	0.0008	0.0007	0.0008	0.0002	△ 0.0001	0.0001

注：年齢階級別の数値は各歳別出生率を合計したものであり、15歳及び49歳にはそれぞれ14歳以下、50歳以上を含んでいる。

表4-2 出生順位別にみた合計特殊出生率の年次推移

出生順位	合 計 特 殊 出 生 率							対前年増減		
	昭和50年	60	平成7年	16	17	18	19	17年-16年	18年-17年	19年-18年
総 数	1.91	1.76	1.42	1.29	1.26	1.32	1.34	△ 0.03	0.06	0.02
第 1 子	0.8622	0.7611	0.6607	0.6371	0.6240	0.6518	0.6590	△ 0.0131	0.0278	0.0072
第 2 子	0.7595	0.6950	0.5209	0.4762	0.4643	0.4820	0.4847	△ 0.0119	0.0177	0.0027
第 3 子以上	0.2876	0.3078	0.2410	0.1753	0.1717	0.1831	0.1933	△ 0.0036	0.0114	0.0102

図2 合計特殊出生率の年次推移（年齢階級別内訳）

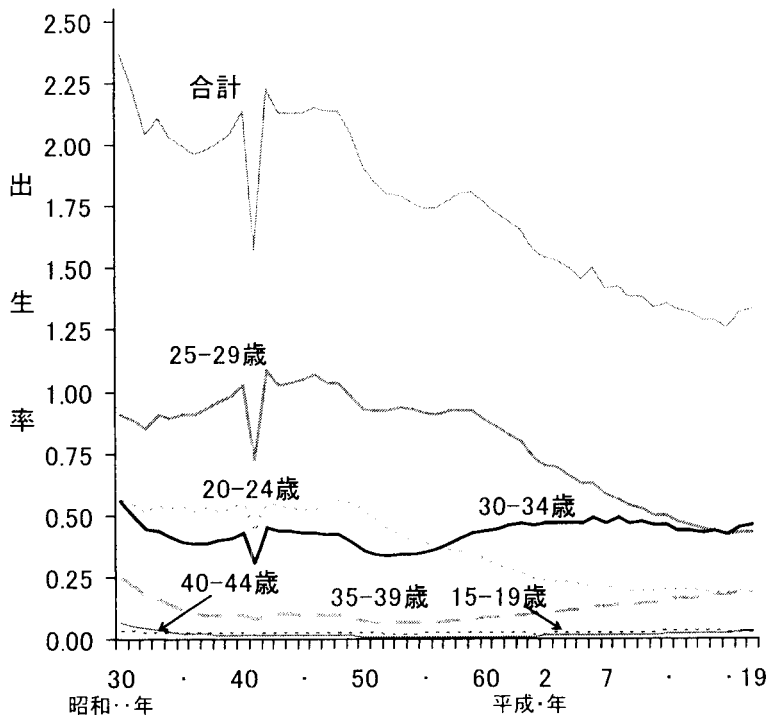


図3 都道府県別合計特殊出生率(平成19年)

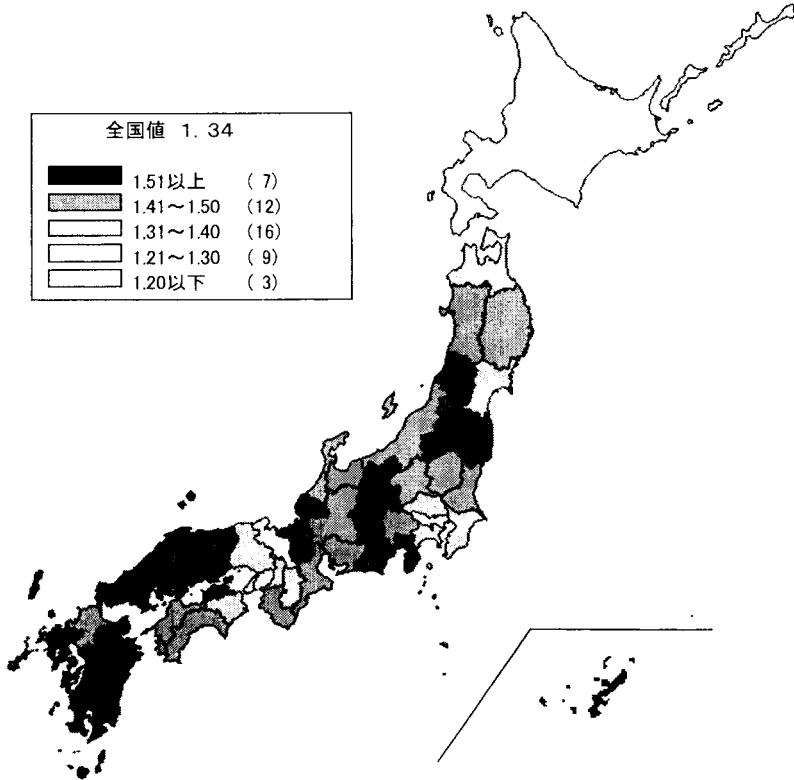


表5 都道府県別にみた合計特殊出生率

都道府県	平成19年	平成18年
全 国	1.34	1.32
北 海 道	1.19	1.18
青 森 県	1.28	1.31
岩 手 県	1.39	1.39
宮 城 県	1.27	1.25
秋 田 県	1.31	1.34
山 形 県	1.42	1.45
福 島 県	1.49	1.49
茨 城 県	1.35	1.35
栃 木 県	1.39	1.40
群 馬 県	1.36	1.36
埼 千 県	1.26	1.24
東 京 都	1.25	1.23
神 奈 川 県	1.05	1.02
新 潟 県	1.25	1.23
富 山 県	1.37	1.37
石 川 県	1.34	1.34
福 井 県	1.40	1.36
山 梨 県	1.52	1.50
山 梨 県	1.35	1.34
長 野 県	1.47	1.44
岐 静 県	1.34	1.35
愛 知 県	1.44	1.39
三 重 県	1.38	1.36
滋 賀 県	1.37	1.35
滋 賀 県	1.42	1.41
京 大 都	1.18	1.19
兵 庫 県	1.24	1.22
奈 良 県	1.30	1.28
和 歌 山 県	1.22	1.22
和 歌 山 県	1.34	1.34
鳥 取 県	1.47	1.51
島 根 県	1.53	1.53
岡 山 県	1.41	1.40
山 口 県	1.43	1.37
山 口 県	1.42	1.40
徳 島 県	1.30	1.31
香 川 県	1.48	1.42
愛 媛 県	1.40	1.37
高 知 県	1.31	1.33
福 岡 県	1.34	1.30
佐 賀 県	1.51	1.50
長 崎 県	1.48	1.49
熊 本 県	1.54	1.50
大 宮 市	1.47	1.45
大 宮 市	1.59	1.55
鹿 児 島 県	1.54	1.51
沖 縄 県	1.75	1.74

注：分母に用いた人口は、全国は各歳別日本人口、都道府県は5歳階級別総人口。



### 3 死亡

#### (1) 死亡数・死亡率

平成19年の死亡数は110万8280人で、前年の108万4450人より2万3830人増加し、死亡率（人口千対）は8.8で前年の8.6を上回った。

昭和30年以降は70万人前後で推移していたが、昭和50年代後半から増加傾向となり、平成2年以降は80万人台、平成7年以降にはほぼ90万人台となり、平成15年から5年連続で100万人台となっている。

昭和50年代後半から75歳以上の高齢者の死亡が増加しており、平成19年には死亡数の約6割を占めている。（図4）

年齢（5歳階級）別に死亡率（人口10万対）をみると、35～39歳と55～59歳を除いた、各年齢階級で前年より低下している（表6-1）。

死亡率性比（男の死亡率／女の死亡率×100）を年齢（5歳階級）別にみると、全年齢階級で100以上となっており、男の死亡率が高いことを示している。また、15～24歳と50～79歳の各年齢階級では、男の死亡率が女の死亡率の2倍以上となっている。（表6-2）

図4 死亡数及び死亡率の年次推移

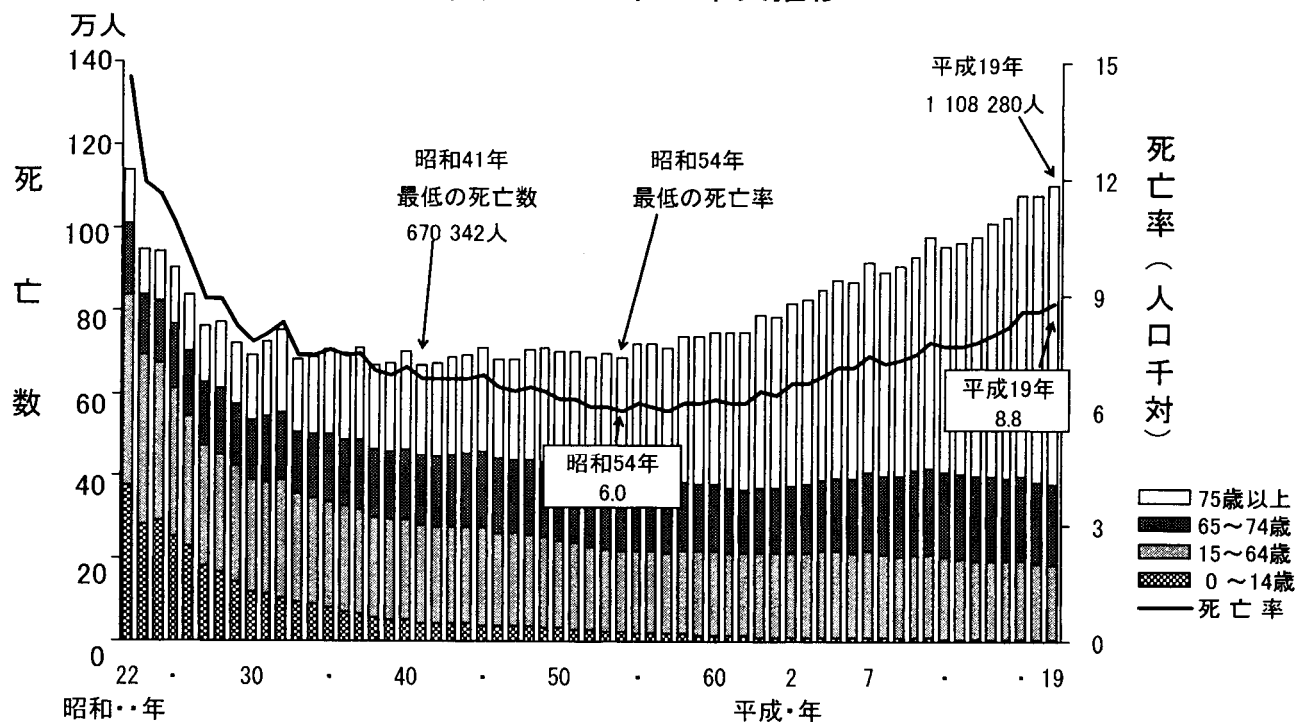


表6-1 年齢（5歳階級）別にみた死亡数・死亡率（人口10万対）

年齢階級	死亡数			死亡率		
	平成19年	平成18年	対前年増減	平成19年	平成18年	対前年増減
総数	1 108 280	1 084 450	23 830	879.0	859.6	19.4
0～4歳	3 809	3 940	△ 131	70.8	72.3	△ 1.5
5～9	552	612	△ 60	9.5	10.4	△ 0.9
10～14	534	573	△ 39	9.0	9.6	△ 0.6
15～19	1 599	1 778	△ 179	25.8	28.0	△ 2.2
20～24	3 050	3 168	△ 118	43.4	44.5	△ 1.1
25～29	3 640	3 948	△ 308	48.2	50.7	△ 2.5
30～34	5 406	5 624	△ 218	59.0	59.6	△ 0.6
35～39	7 678	7 387	291	83.1	81.3	1.8
40～44	10 063	10 065	△ 2	124.8	128.5	△ 3.7
45～49	14 965	15 297	△ 332	196.4	201.6	△ 5.2
50～54	24 560	26 373	△ 1 813	308.5	316.5	△ 8.0
55～59	49 774	51 068	△ 1 294	480.5	475.0	5.5
60～64	58 498	58 267	231	694.8	720.1	△ 25.3
65～69	80 094	79 279	815	1 027.2	1 045.2	△ 18.0
70～74	116 665	117 346	△ 681	1 692.5	1 729.2	△ 36.7
75～79	159 762	159 251	511	2 881.2	2 952.9	△ 71.7
80～84	188 304	178 396	9 908	4 889.7	4 895.6	△ 5.9
85～89	173 396	166 753	6 643	8 487.3	8 626.6	△ 139.3
90～94	134 746	130 488	4 258	14 582.9	14 694.6	△ 111.7
95～99	58 982	53 976	5 006	22 685.4	22 968.5	△ 283.1
100歳以上	11 678	10 340	1 338	33 365.7	35 655.2	△2 289.5

注：総数には年齢不詳を含む。

表6-2 性・年齢（5歳階級）別にみた死亡数・死亡率  
（人口10万対）・死亡率性比（平成19年）

年齢階級	死亡数		死亡率		死亡率性比
	男	女	男	女	
総数	592 759	515 521	963.7	798.3	120.7
0～4歳	2 083	1 726	75.6	65.8	114.9
5～9	314	238	10.5	8.4	125.0
10～14	325	209	10.7	7.2	148.6
15～19	1 087	512	34.2	17.0	201.2
20～24	2 092	958	57.9	28.1	206.0
25～29	2 445	1 195	63.5	32.3	196.6
30～34	3 631	1 775	78.1	39.4	198.2
35～39	5 036	2 642	107.6	58.0	185.5
40～44	6 698	3 365	164.4	84.3	195.0
45～49	9 914	5 051	259.1	133.2	194.5
50～54	16 361	8 199	411.5	205.7	200.0
55～59	34 314	15 460	669.7	295.3	226.8
60～64	40 887	17 611	996.8	407.9	244.4
65～69	55 026	25 068	1 476.4	615.9	239.7
70～74	77 497	39 168	2 439.3	1 054.0	231.4
75～79	100 137	59 625	4 175.9	1 894.7	220.4
80～84	102 133	86 171	7 009.8	3 599.5	194.7
85～89	72 028	101 368	11 905.5	7 049.2	168.9
90～94	44 144	90 602	19 276.9	13 055.0	147.7
95～99	14 222	44 760	28 444.0	21 314.3	133.5
100歳以上	1 953	9 725	39 060.0	32 416.7	120.5

注：1）総数には年齢不詳を含む。

2）死亡率性比＝男の死亡率/女の死亡率×100

## (2) 死因

### ① 死因順位

平成19年の死亡数・死亡率（人口10万対）を死因順位別にみると、第1位は悪性新生物で33万6290人、266.7、第2位は心疾患17万5396人、139.1、第3位は脳血管疾患12万6940人、100.7となっている（表7）。

主な死因の年次推移をみると、悪性新生物は、一貫して上昇を続け、昭和56年以降死因順位第1位となり、平成19年の全死亡者に占める割合は30.3%となっている。全死亡者のおよそ3人に1人は悪性新生物で死亡したことになる。

心疾患は、昭和60年に脳血管疾患にかわり第2位となり、その後も死亡数・死亡率ともに上昇傾向を示している。平成19年の全死亡者に占める割合は15.8%となっている。

脳血管疾患は、昭和26年に結核にかわって第1位となったが、昭和45年をピークに低下しはじめ、昭和56年には悪性新生物にかわり第2位に、更に、昭和60年には心疾患にかわり第3位となりその後も死亡数・死亡率ともに低下を続けた。平成19年の全死亡者に占める割合は11.5%となっている。（図5、図6）

図5 主な死因別死亡数の割合（平成19年）

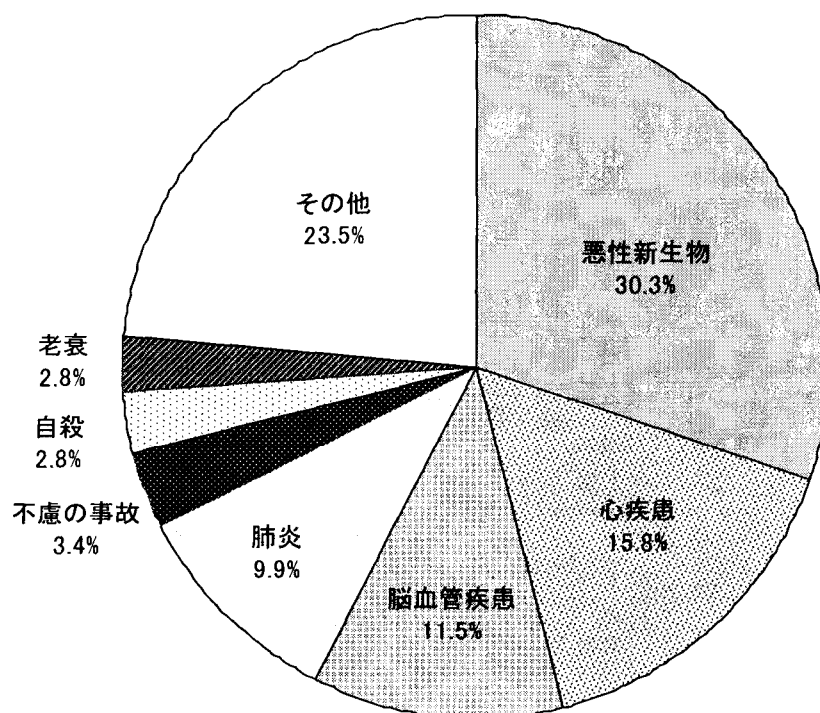


表7 性別にみた死因順位別死亡数・死亡率（人口10万対）

死 因	平成19年						平成18年	
	総 数		男		女		総 数	
	死亡数	死亡率	死亡数	死亡率	死亡数	死亡率	死亡数	死亡率
全 死 因	1 108 280	879.0	592 759	963.7	515 521	798.3	1 084 450	859.6
悪 性 新 生 物 (1)	336 290	266.7	(1) 202 628	329.4	(1) 133 662	207.0	(1) 329 314	261.0
心 疾 患 (2)	175 396	139.1	(2) 83 009	134.9	(2) 92 387	143.1	(2) 173 024	137.2
脳 血 管 疾 患 (3)	126 940	100.7	(3) 60 938	99.1	(3) 66 002	102.2	(3) 128 268	101.7
肺 炎 (4)	110 080	87.3	(4) 58 532	95.2	(4) 51 548	79.8	(4) 107 242	85.0
不慮の事故 (5)	37 874	30.0	(5) 22 642	36.8	(6) 15 232	23.6	(5) 38 270	30.3
自 殺 (6)	30 777	24.4	(6) 21 977	35.7	(8) 8 800	13.6	(6) 29 921	23.7
老 衰 (7)	30 712	24.4	(10) 7 486	12.2	(5) 23 226	36.0	(7) 27 764	22.0
腎 不 全 (8)	21 606	17.1	(9) 9 919	16.1	(7) 11 687	18.1	(8) 21 158	16.8
肝 疾 患 (9)	16 164	12.8	(8) 10 680	17.4	(11) 5 484	8.5	(9) 16 267	12.9
慢性閉塞性肺疾患 (10)	14 890	11.8	(7) 11 435	18.6	(15) 3 455	5.4	(10) 14 357	11.4

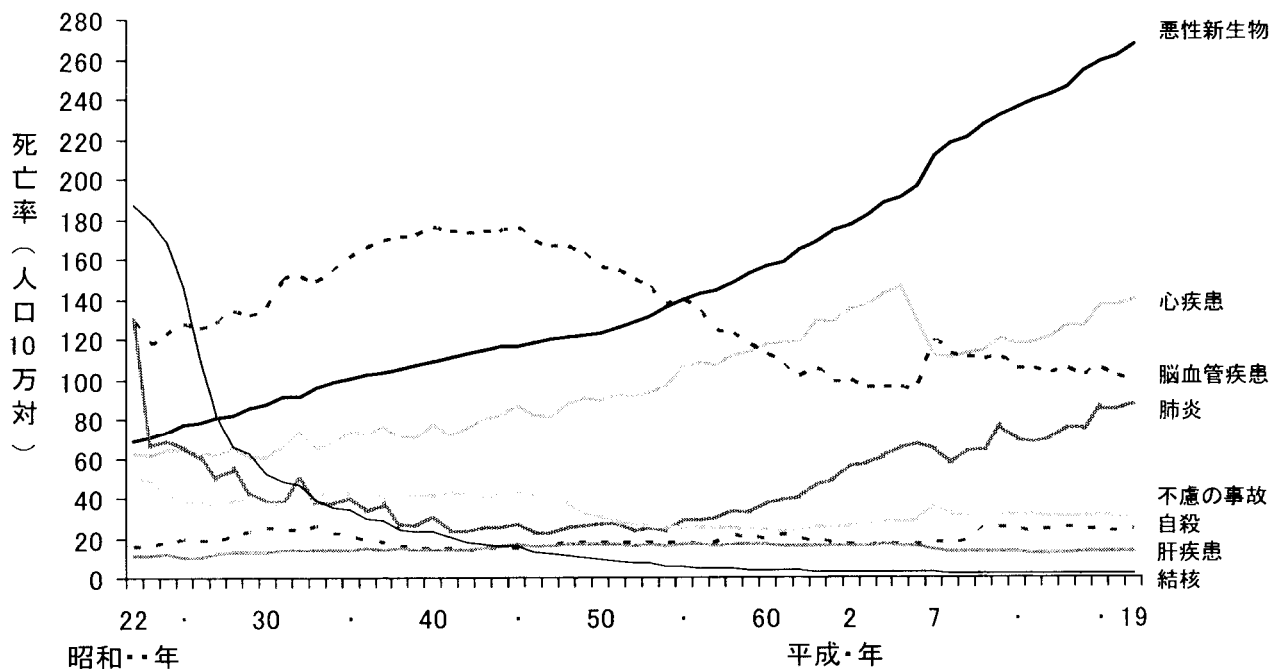
注：1）（ ）内の数字は死因順位を示す。

2）女の9位は「糖尿病」で死亡数は6 593、死亡率は10.2である。

3）女の10位は「大動脈瘤及び解離」で死亡数は5 521、死亡率は8.5である。

4）「結核」は死亡数が2 188、死亡率は1.7で第27位となっている。

図6 主な死因別にみた死亡率の年次推移



注：1）平成6・7年の心疾患の低下は、死亡診断書（死体検案書）（平成7年1月施行）において「死亡の原因欄には、疾患の終末期の状態としての心不全、呼吸不全等は書かないでください」という注意書きの施行前からの周知の影響によるものと考えられる。

2）平成7年の脳血管疾患の上昇の主な要因は、ICD-10（平成7年1月適用）による原死因選択ルールの明確化によるものと考えられる。

## ② 年齢別死因

平成19年の死因を性・年齢（5歳階級）別に構成割合で見ると、5～14歳では不慮の事故及び悪性新生物が、15～19歳及び20歳代では不慮の事故及び自殺が多く、30歳代、40歳代では自殺及び悪性新生物が多い。40歳代からは年齢が高くなるにしたがって、悪性新生物の占める割合が多くなり、男では60歳代で、女では50歳代でピークとなる。それ以降は男女とも心疾患、脳血管疾患、肺炎の占める割合が、年齢が高くなるとともに多くなり、男では90歳以上で肺炎が最も多く、女では85歳以上100歳未満で心疾患、100歳以上では老衰が最も多くなっている。（図7-1）

また、減少を続ける1歳未満の乳児死亡数は3年連続で3000人を下回り、その死因別構成割合をみると、「先天奇形、変形及び染色体異常」の占める割合が多い（図7-2）。

図7-1 性・年齢階級別にみた主な死因の構成割合（平成19年）

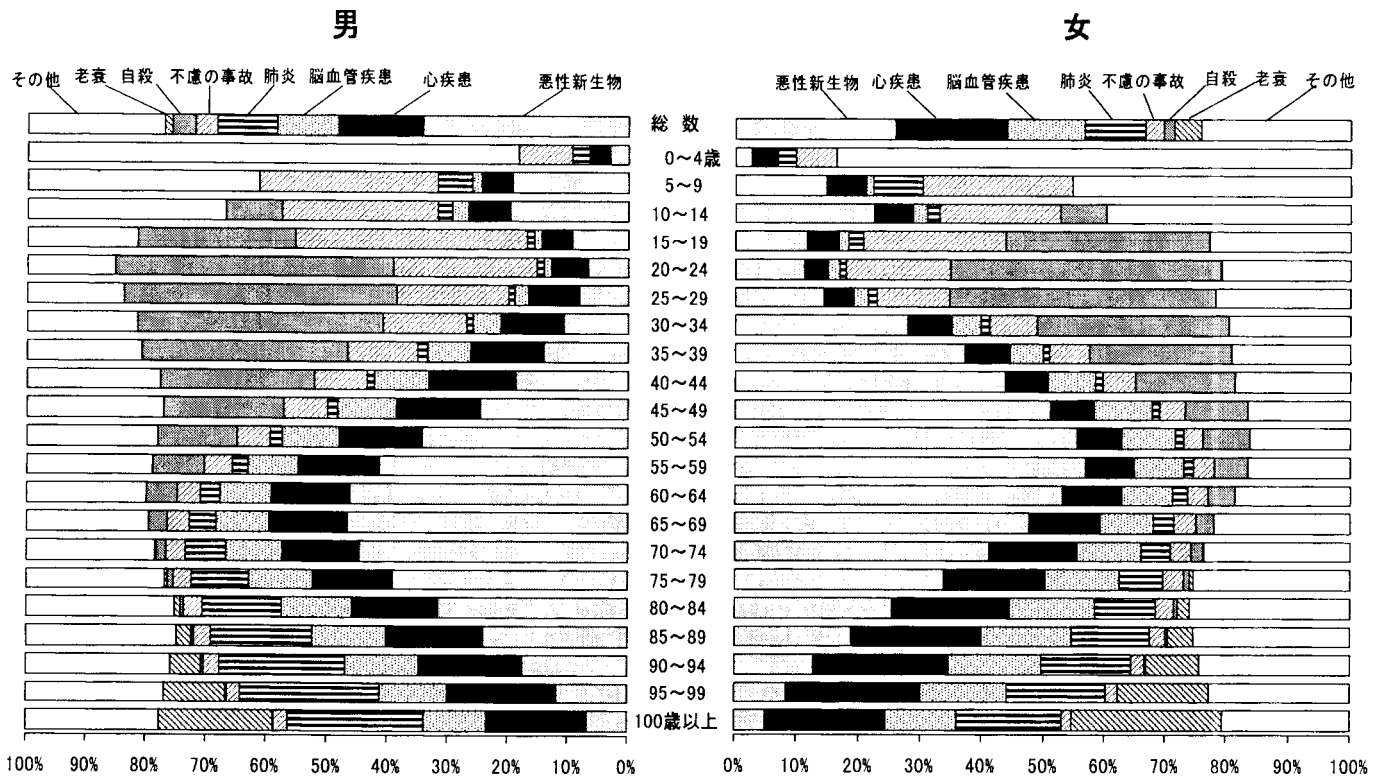
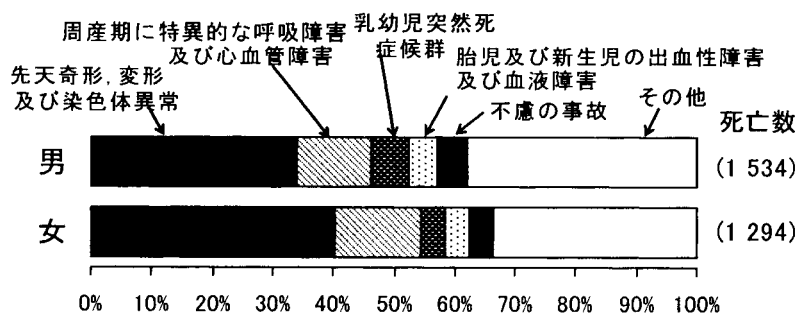


図7-2 乳児死亡の主な死因の構成割合（平成19年）



### ③ 部位別にみた悪性新生物

悪性新生物について死亡数・死亡率を部位別にみると、男の「肺」は上昇傾向が著しく、平成5年に「胃」を上回って第1位となり、平成19年の死亡数は4万7659人、死亡率（人口10万対）は77.5となっている。

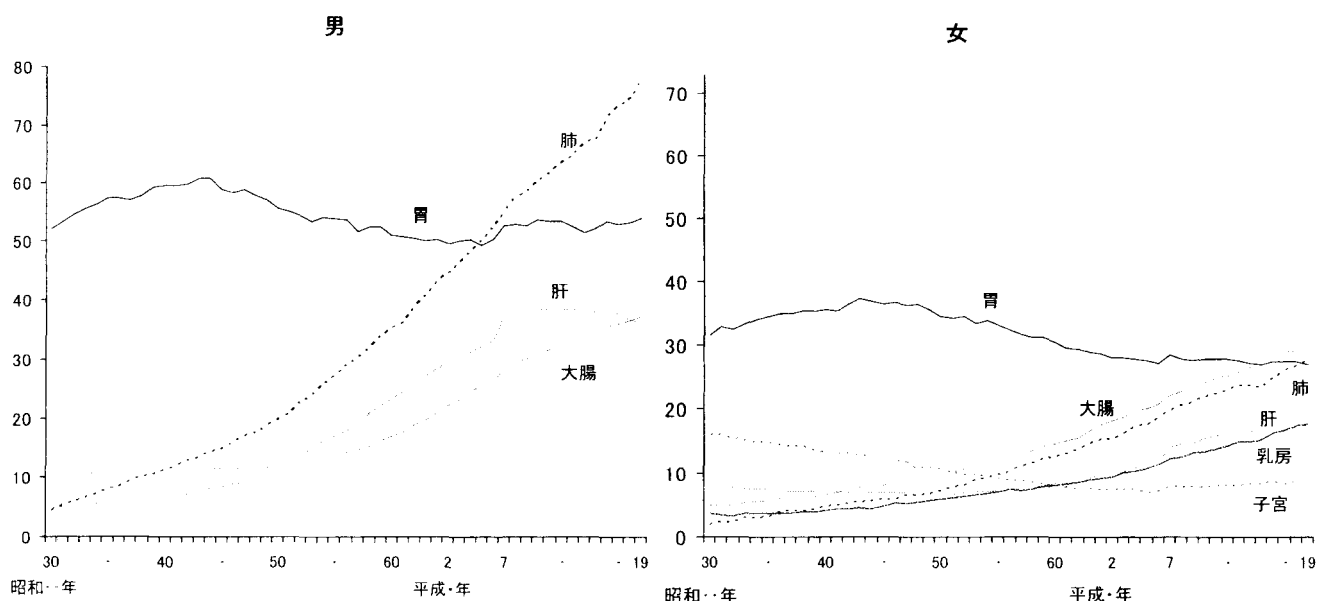
また、女の「大腸」と「肺」は上昇傾向が続いており、「大腸」は平成15年に「胃」を上回って第1位となり、平成19年の死亡数は1万9003人、死亡率（人口10万対）は29.4となっている。（表8、図8）

表8 悪性新生物の主な部位別にみた死亡数・死亡率（人口10万対）

部位	昭和40年	50	60	平成7年	17	18	19
男							
胃	28 636	30 403	30 146	32 015	32 643	32 745	33 131
肝	5 006	6 677	13 780	22 773	23 203	22 576	22 289
肺	5 404	10 711	20 837	33 389	45 189	45 941	47 659
大腸	3 265	5 799	10 112	17 312	22 146	22 392	22 833
女							
胃	17 749	19 454	18 756	18 061	17 668	17 670	17 446
肝	3 499	3 696	5 192	8 934	11 065	11 086	11 294
肺	2 321	4 048	7 753	12 356	16 874	17 314	17 917
乳房	1 966	3 262	4 922	7 763	10 721	11 177	11 322
子宮	6 689	6 075	4 912	4 865	5 381	5 513	5 621
大腸	3 335	5 654	8 926	13 962	18 684	18 664	19 003
男							
胃	59.4	55.6	51.1	52.6	53.0	53.2	53.9
肝	10.4	12.2	23.3	37.4	37.7	36.7	36.2
肺	11.2	19.6	35.3	54.8	73.3	74.6	77.5
大腸	6.8	10.6	17.1	28.4	35.9	36.4	37.1
女							
胃	35.5	34.4	30.6	28.5	27.4	27.4	27.0
肝	7.0	6.5	8.5	14.1	17.1	17.2	17.5
肺	4.6	7.2	12.7	19.5	26.1	26.8	27.7
乳房	3.9	5.8	8.0	12.2	16.6	17.3	17.5
子宮	13.4	10.7	8.0	7.7	8.3	8.5	8.7
大腸	6.7	10.0	14.6	22.0	28.9	28.9	29.4

注：大腸の悪性新生物は、結腸の悪性新生物と直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物を示す。

図8 悪性新生物の主な部位別死亡率（人口10万対）の年次推移



## 4 婚姻

平成19年の婚姻件数は71万9801組で、前年の73万971組より1万1170組減少し、婚姻率（人口千対）は5.7で前年の5.8を下回った。

婚姻件数は昭和40年代後半には100万組を超え、婚姻率（人口千対）も10.0以上で、婚姻ブームを呈した。その後は組数・率とも低下傾向となり、昭和63年以降は増加に転じ、平成5年以降は増減を繰り返しながらほぼ横ばいで推移していたが、平成14年から4年連続で減少し、平成18年は5年ぶりに増加したが、平成19年は再び減少した。（図9）

初婚の妻の年齢（各歳）別婚姻件数の構成割合を10年ごとにみると、ピーク時の年齢が上昇し、その割合の高さは低下し、高い年齢の割合が増加している。また、年齢（5歳階級）別にみた妻の初婚率（女性人口千対）をみると、前年に比べ20歳代は低下し、30歳代は引き続き上昇している。（表9、図10）

平成19年の平均初婚年齢は、夫30.1歳、妻28.3歳で、夫、妻ともに前年より0.1歳上昇している。これを都道府県別にみると、平均初婚年齢が最も低いのは、夫は、愛媛県、佐賀県、宮崎県で29.0歳、妻は福島県で27.2歳であり、最も高いのは夫・妻とも東京都で、夫31.5歳、妻29.5歳である。（表10-1、表10-2）

再婚の割合をみると、平成19年は夫は18.8%で前年と同率、妻は16.5%で前年より0.2ポイント増加している（表11）。

図9 婚姻件数及び婚姻率の年次推移

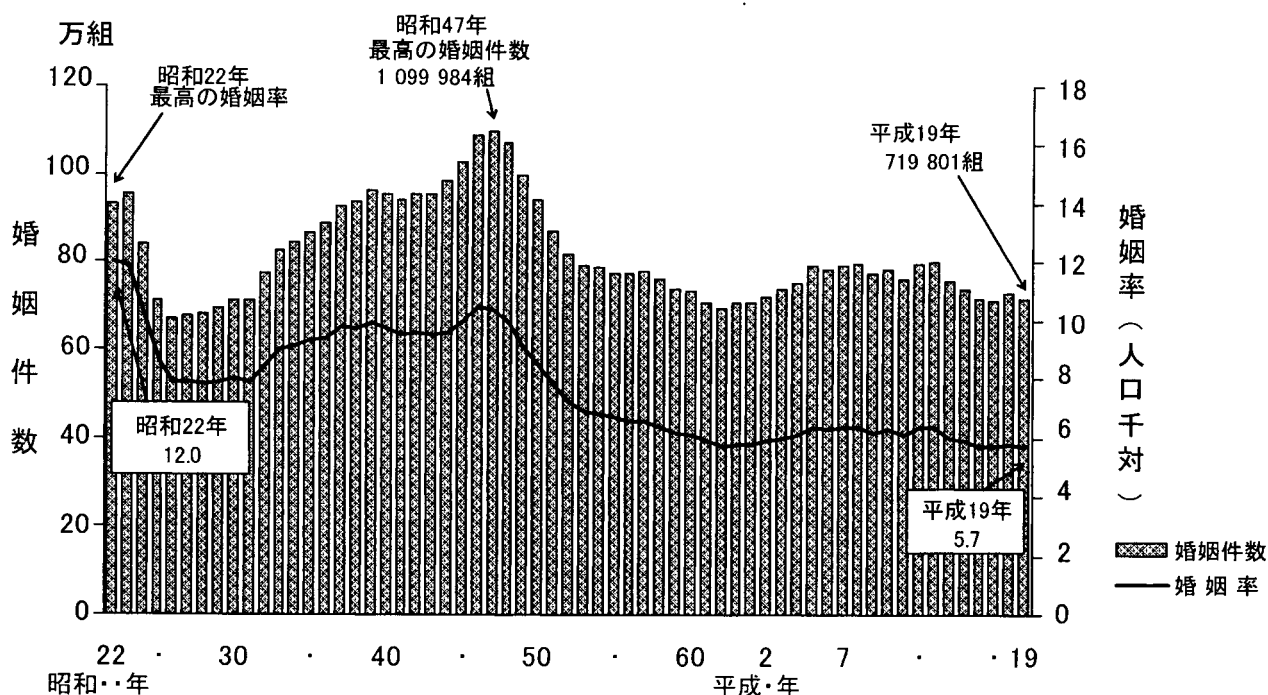
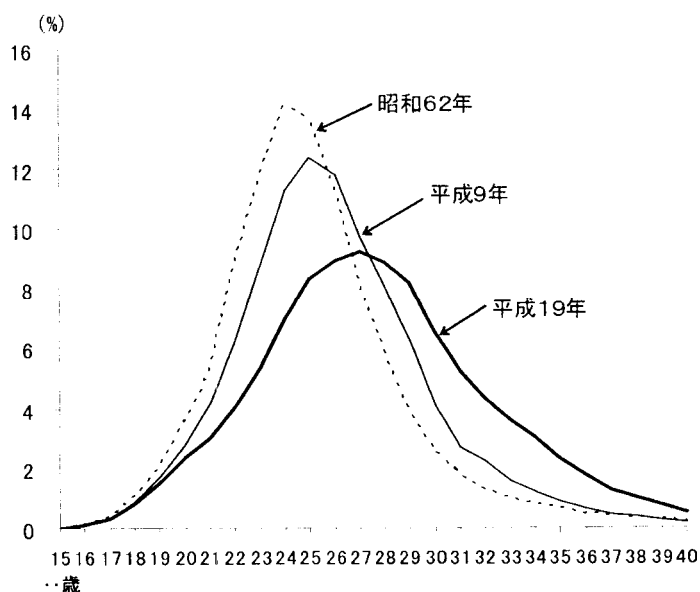


図10 初婚の妻の年齢（各歳）別婚姻件数の割合



注：各届出年に結婚生活に入ったもの。

表9 年齢（5歳階級）別にみた妻の初婚率（女性人口千対）の年次推移

	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳
平成 4年	52.41	69.87	14.93	2.99
9	45.24	66.02	18.62	4.22
14	38.84	62.10	22.53	5.81
15	36.24	60.82	23.29	6.28
16	34.20	59.41	23.58	6.58
17	34.12	60.06	24.41	7.24
18	34.75	61.63	25.83	7.72
19	33.25	61.10	26.17	8.14

注：各届出年に結婚生活に入ったもの。

表11 全婚姻件数に対する再婚件数の割合の年次推移

	夫		妻	
		%		%
昭和50年		9.1		7.5
55		10.8		9.5
60		12.2		10.8
平成2年		13.4		11.7
7		13.2		11.6
12		15.0		13.4
13		15.7		14.0
14		16.3		14.8
15		17.1		15.4
16		17.8		15.9
17		18.2		16.0
18		18.8		16.3
19		18.8		16.5

表10-1 平均初婚年齢の年次推移

		夫	妻
		歳	歳
平成	4年	28.4	26.0
	9	28.5	26.6
	14	29.1	27.4
	17	29.8	28.0
	18	30.0	28.2
	19	30.1	28.3

注：各届出年に結婚生活に入ったもの。

表10-2 都道府県別にみた平均初婚年齢

都道府県	平成19年	
	夫	妻
	歳	歳
北海道	29.5	28.1
青森	29.4	27.6
岩手	29.7	27.6
宮城	29.7	27.8
秋田	29.4	27.5
山形	29.7	27.7
福島	29.2	27.2
茨城	29.9	27.8
栃木	30.0	28.0
群馬	29.9	28.1
埼玉	30.6	28.5
千葉	30.6	28.6
東京都	31.5	29.5
神奈川県	31.0	29.0
新潟	29.9	28.0
富山	30.1	28.2
石川	29.8	28.1
福井	29.7	27.7
山梨	30.5	28.4
長野	30.5	28.5
岐阜	29.7	27.8
静岡県	30.0	28.1
愛知県	30.0	28.0
三重	29.6	27.7
滋賀	29.7	27.9
京都府	30.3	28.6
大阪府	30.1	28.5
兵庫県	29.9	28.3
奈良	30.1	28.3
和歌山	29.3	27.7
鳥取	29.2	27.7
島根	29.5	27.8
岡山	29.4	27.7
広島	29.5	27.8
山口	29.3	27.6
徳島	29.4	27.6
香川	29.3	27.7
愛媛	29.0	27.5
高知	29.7	28.2
福岡	29.7	28.3
佐賀	29.0	27.5
長崎	29.3	28.0
熊本	29.2	27.7
大宮	29.4	28.0
宮崎	29.0	27.6
鹿児島	29.2	27.7
沖縄	29.4	27.9

注：平成19年に結婚生活に入ったもの。



## 5 離婚

平成19年の離婚件数は25万4822組で、前年の25万7475組より2653組減少した。

離婚件数は昭和39年以降毎年増加し、昭和46年には10万組を超えた。その後も増加を続け、昭和58年をピークに減少に転じ、平成3年から再び増加していたが、平成15年から5年連続で減少している。(図11)

離婚率(人口千対)は2.02で、前年の2.04を下回った(統計表第2表)。

離婚件数を同居期間別にみると、1~2年を除く15年未満では減少しているが、15年以上では増加している(表12、図12)。

図11 離婚件数及び離婚率の年次推移

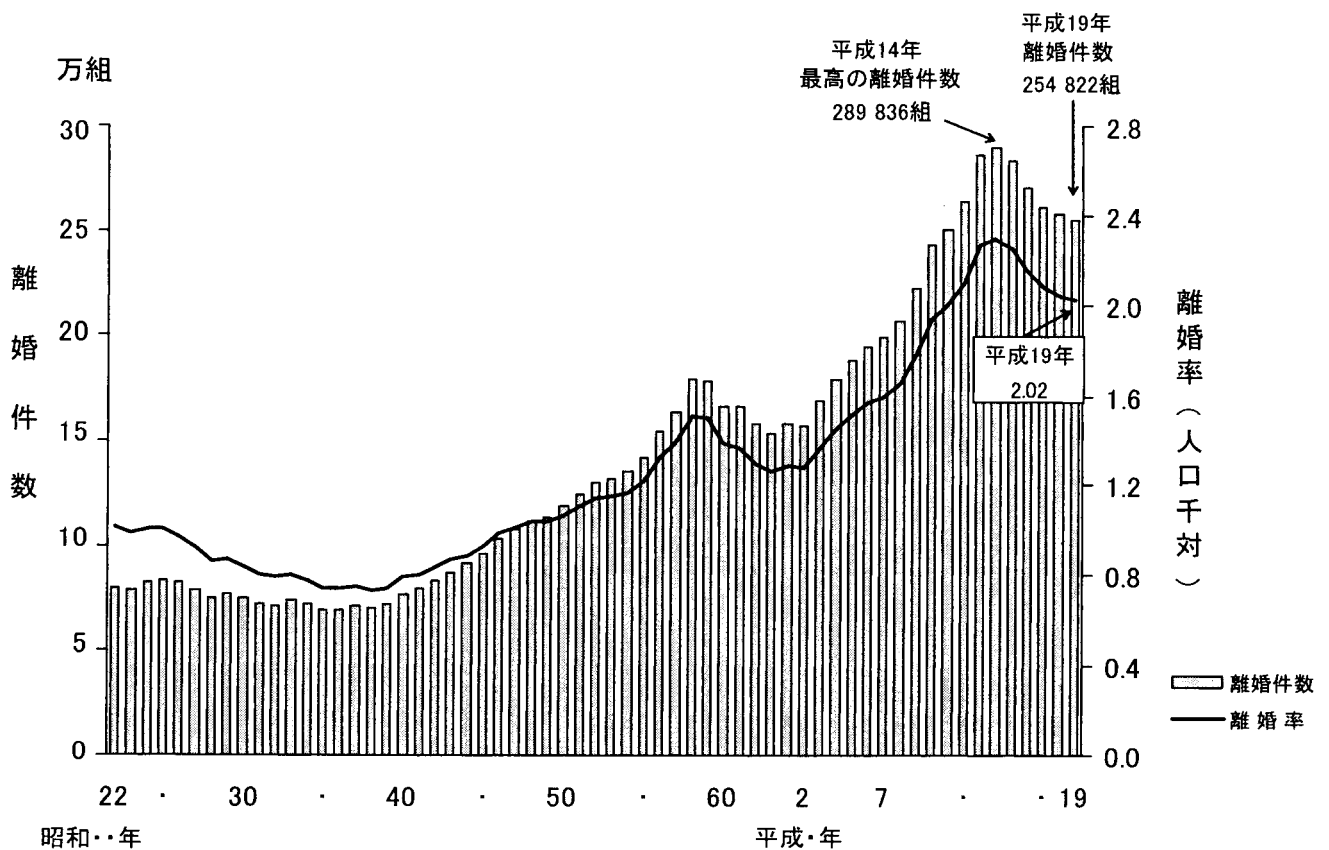
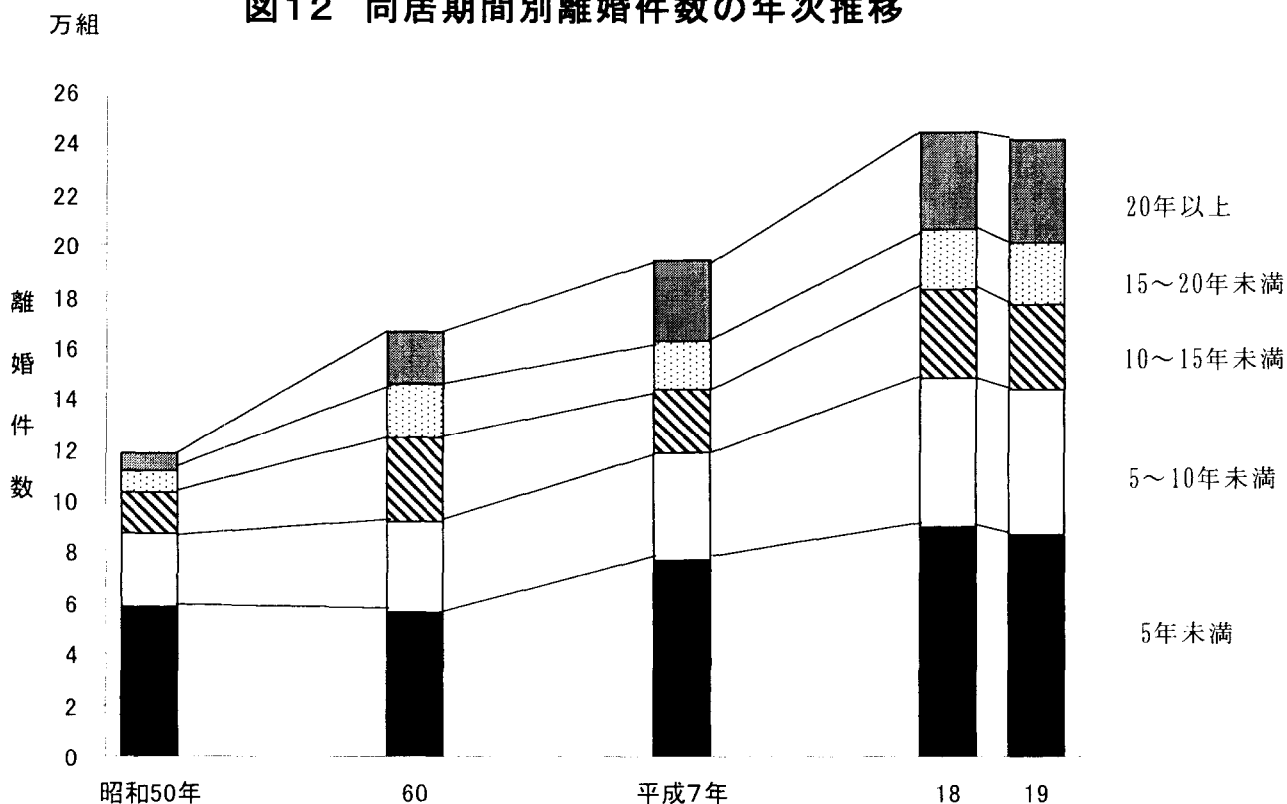


表 1 2 同居期間別離婚件数の年次推移

同居期間	昭和50年	60	平成7年	17	18	19	対前年 増 減	対前年 増加率 (%)
総 数	119 135	166 640	199 016	261 917	257 475	254 822	△ 2 653	△ 1.0
5年未満	58 336	56 422	76 710	90 885	89 655	86 608	△ 3 047	△ 3.4
1年未満	14 773	12 656	14 893	16 558	17 348	17 207	△ 141	△ 0.8
1～2	13 014	12 817	18 081	20 159	19 535	19 617	82	0.4
2～3	11 731	11 710	16 591	19 435	18 918	18 161	△ 757	△ 4.0
3～4	10 141	10 434	14 576	18 144	17 425	16 573	△ 852	△ 4.9
4～5	8 677	8 825	12 569	16 589	16 429	15 050	△ 1 379	△ 8.4
5～10	28 597	35 338	41 185	57 562	58 002	56 331	△ 1 671	△ 2.9
10～15	16 206	32 310	25 308	35 093	34 740	33 691	△ 1 049	△ 3.0
15～20	8 172	21 528	19 153	24 885	23 675	24 166	491	2.1
20年以上	6 810	20 434	31 877	40 395	37 782	40 349	2 567	6.8
20～25年未満	4 050	12 706	17 847	18 401	17 059	17 788	729	4.3
25～30	1 894	4 827	8 684	10 747	10 029	10 795	766	7.6
30～35	566	1 793	3 506	6 453	5 947	6 259	312	5.2
35年以上	300	1 108	1 840	4 794	4 747	5 507	760	16.0

注：総数には同居期間不詳を含む。

図12 同居期間別離婚件数の年次推移





# 統計表

第1表 人口動態総覧の年次推移 (2-1)

年次	出生数	死亡数	(再掲)		自然増加数	
			乳児死亡数	新生児死亡数		
1899	明治 32年	1 386 981	932 087	213 359	108 077	454 894
1900	33	1 420 534	910 744	220 211	112 259	509 790
1901	34	1 501 591	925 810	225 107	115 794	575 781
1902	35	1 510 835	959 126	232 652	116 654	551 709
1903	36	1 489 816	931 008	226 982	112 909	558 808
1904	37	1 440 371	955 400	218 756	106 477	484 971
1905	38	1 452 770	1 004 661	220 450	103 382	448 109
1906	39	1 394 295	955 256	214 148	105 307	439 039
1907	40	1 614 472	1 016 798	244 300	118 617	597 674
1908	41	1 662 815	1 029 447	262 801	123 867	633 368
1909	42	1 693 850	1 091 264	283 436	129 629	602 586
1910	43	1 712 857	1 064 234	276 136	126 910	648 623
1911	44	1 747 803	1 043 906	276 798	127 302	703 897
1912	大正 元年	1 737 674	1 037 016	268 025	123 902	700 658
1913	2	1 757 441	1 027 257	267 281	124 213	730 184
1914	3	1 808 402	1 101 815	286 678	125 745	706 587
1915	4	1 799 326	1 093 793	288 634	125 337	705 533
1916	5	1 804 822	1 187 832	307 283	132 000	616 990
1917	6	1 812 413	1 199 669	313 872	139 717	612 744
1918	7	1 791 992	1 493 162	337 919	145 710	298 830
1919	8	1 778 685	1 281 965	303 202	129 072	496 720
1920	9	2 025 564	1 422 096	335 613	139 681	603 468
1921	10	1 990 876	1 288 570	335 143	136 342	702 306
1922	11	1 969 314	1 286 941	327 604	132 856	682 373
1923	12	2 043 297	1 332 485	333 930	135 504	710 812
1924	13	1 998 520	1 254 946	312 267	126 385	743 574
1925	14	2 086 091	1 210 706	297 008	121 238	875 385
1926	昭和 元年	2 104 405	1 160 734	289 275	119 642	943 671
1927	2	2 060 737	1 214 323	292 084	116 240	846 414
1928	3	2 135 852	1 236 711	293 881	115 682	899 141
1929	4	2 077 026	1 261 228	295 178	115 009	815 798
1930	5	2 085 101	1 170 867	258 703	104 101	914 234
1931	6	2 102 784	1 240 891	276 584	108 812	861 893
1932	7	2 182 742	1 175 344	256 505	104 573	1 007 398
1933	8	2 121 253	1 193 987	257 251	102 887	927 266
1934	9	2 043 783	1 234 684	255 063	103 408	809 099
1935	10	2 190 704	1 161 936	233 706	97 994	1 028 768
1936	11	2 101 969	1 230 278	245 357	101 043	871 691
1937	12	2 180 734	1 207 899	230 701	95 465	972 835
1938	13	1 928 321	1 259 805	220 695	89 159	668 516
1939	14	1 901 573	1 268 760	202 018	84 204	632 813
1940	15	2 115 867	1 186 595	190 509	81 869	929 272
1941	16	2 277 283	1 149 559	191 420	77 829	1 127 724
1942	17	2 233 660	1 166 630	190 897	76 177	1 067 030
1943	18	2 253 535	1 213 811	195 219	76 588	1 039 724
1947	22	2 678 792	1 138 238	205 360	84 204	1 540 554
1948	23	2 681 624	950 610	165 406	73 855	1 731 014
1949	24	2 696 638	945 444	168 467	72 432	1 751 194
1950	25	2 337 507	904 876	140 515	64 142	1 432 631
1951	26	2 137 689	838 998	122 869	58 686	1 298 691
1952	27	2 005 162	765 068	99 114	51 015	1 240 094
1953	28	1 868 040	772 547	91 424	47 580	1 095 493
1954	29	1 769 580	721 491	78 944	42 726	1 048 089

注： \*印は概数である。

年 次		出 生 数	死 亡 数	( 再 掲 ) 乳児死亡数	新 生 児 死 亡 数	自然増加数
1955	昭和 30 年	1 730 692	693 523	68 801	38 646	1 037 169
1956	31	1 665 278	724 460	67 691	38 232	940 818
1957	32	1 566 713	752 445	62 678	33 847	814 268
1958	33	1 653 469	684 189	57 052	32 237	969 280
1959	34	1 626 088	689 959	54 768	30 235	936 129
1960	35	1 606 041	706 599	49 293	27 362	899 442
1961	36	1 589 372	695 644	45 465	26 255	893 728
1962	37	1 618 616	710 265	42 797	24 777	908 351
1963	38	1 659 521	670 770	38 442	22 965	988 751
1964	39	1 716 761	673 067	34 967	21 344	1 043 694
1965	40	1 823 697	700 438	33 742	21 260	1 123 259
1966	41	1 360 974	670 342	26 217	16 296	690 632
1967	42	1 935 647	675 006	28 928	19 248	1 260 641
1968	43	1 871 839	686 555	28 600	18 326	1 185 284
1969	44	1 889 815	693 787	26 874	17 116	1 196 028
1970	45	1 934 239	712 962	25 412	16 742	1 221 277
1971	46	2 000 973	684 521	24 805	16 450	1 316 452
1972	47	2 038 682	683 751	23 773	15 817	1 354 931
1973	48	2 091 983	709 416	23 683	15 473	1 382 567
1974	49	2 029 989	710 510	21 888	14 472	1 319 479
1975	50	1 901 440	702 275	19 103	12 912	1 199 165
1976	51	1 832 617	703 270	17 105	11 638	1 129 347
1977	52	1 755 100	690 074	15 666	10 773	1 065 026
1978	53	1 708 643	695 821	14 327	9 628	1 012 822
1979	54	1 642 580	689 664	12 923	8 590	952 916
1980	55	1 576 889	722 801	11 841	7 796	854 088
1981	56	1 529 455	720 262	10 891	7 188	809 193
1982	57	1 515 392	711 883	9 969	6 425	803 509
1983	58	1 508 687	740 038	9 406	5 894	768 649
1984	59	1 489 780	740 247	8 920	5 527	749 533
1985	60	1 431 577	752 283	7 899	4 910	679 294
1986	61	1 382 946	750 620	7 251	4 296	632 326
1987	62	1 346 658	751 172	6 711	3 933	595 486
1988	63	1 314 006	793 014	6 265	3 592	520 992
1989	平成 元年	1 246 802	788 594	5 724	3 214	458 208
1990	2	1 221 585	820 305	5 616	3 179	401 280
1991	3	1 223 245	829 797	5 418	2 978	393 448
1992	4	1 208 989	856 643	5 477	2 905	352 346
1993	5	1 188 282	878 532	5 169	2 765	309 750
1994	6	1 238 328	875 933	5 261	2 889	362 395
1995	7	1 187 064	922 139	5 054	2 615	264 925
1996	8	1 206 555	896 211	4 546	2 438	310 344
1997	9	1 191 665	913 402	4 403	2 307	278 263
1998	10	1 203 147	936 484	4 380	2 353	266 663
1999	11	1 177 669	982 031	4 010	2 137	195 638
2000	12	1 190 547	961 653	3 830	2 106	228 894
2001	13	1 170 662	970 331	3 599	1 909	200 331
2002	14	1 153 855	982 379	3 497	1 937	171 476
2003	15	1 123 610	1 014 951	3 364	1 879	108 659
2004	16	1 110 721	1 028 602	3 122	1 622	82 119
2005	17	1 062 530	1 083 796	2 958	1 510	△ 21 266
2006	18	1 092 674	1 084 450	2 864	1 444	8 224
2007	* 19	1 089 745	1 108 280	2 828	1 433	△ 18 535

第1表 人口動態総覧の年次推移 (2-2)

(参考)

年次		死産数			2) 周産期 死亡数	婚姻件数	離婚件数	3) 周産期 死亡数
		総数	自然死産	人工死産				
1899	明治 32 年	135 727	...	...	...	297 372	66 545	...
1900	33	137 987	...	...	...	346 528	63 828	...
1901	34	155 489	...	...	...	378 457	63 442	...
1902	35	157 708	...	...	...	394 165	64 139	...
1903	36	153 920	...	...	...	370 961	65 392	...
1904	37	147 058	...	...	...	398 930	63 913	...
1905	38	142 092	...	...	...	350 898	60 061	...
1906	39	149 731	...	...	...	352 857	65 398	...
1907	40	158 814	...	...	...	432 949	61 058	...
1908	41	162 676	...	...	...	461 254	60 226	...
1909	42	161 576	...	...	...	437 882	58 936	...
1910	43	157 392	...	...	...	441 222	59 432	...
1911	44	155 319	...	...	...	433 117	58 067	...
1912	大正 元年	147 545	...	...	...	430 422	59 143	...
1913	2	147 769	...	...	...	431 287	59 536	...
1914	3	145 692	...	...	...	452 932	59 992	...
1915	4	141 301	...	...	...	445 210	59 943	...
1916	5	139 998	...	...	...	433 680	60 254	...
1917	6	140 328	...	...	...	447 970	55 812	...
1918	7	142 507	...	...	...	500 580	56 474	...
1919	8	132 939	...	...	...	480 136	56 812	...
1920	9	144 038	...	...	...	546 207	55 511	...
1921	10	138 301	...	...	...	519 217	53 402	...
1922	11	132 244	...	...	...	515 916	53 053	...
1923	12	133 863	...	...	...	512 689	51 212	...
1924	13	125 839	...	...	...	513 130	51 770	...
1925	14	124 403	...	...	...	521 438	51 687	...
1926	昭和 元年	124 038	...	...	...	502 847	50 119	...
1927	2	116 922	...	...	...	487 850	50 626	...
1928	3	120 191	...	...	...	499 555	49 119	...
1929	4	116 971	...	...	...	497 410	51 222	...
1930	5	117 730	...	...	...	506 674	51 259	...
1931	6	116 509	...	...	...	496 574	50 609	...
1932	7	119 579	...	...	...	515 270	51 437	...
1933	8	114 138	...	...	...	486 058	49 282	...
1934	9	113 043	...	...	...	512 654	48 610	...
1935	10	115 593	...	...	...	556 730	48 528	...
1936	11	111 056	...	...	...	549 116	46 167	...
1937	12	111 485	...	...	...	674 500	46 500	...
1938	13	99 528	...	...	...	538 831	44 656	...
1939	14	98 349	...	...	...	554 321	45 970	...
1940	15	102 034	...	...	...	666 575	48 556	...
1941	16	103 400	...	...	...	791 625	49 424	...
1942	17	95 448	...	...	...	679 044	46 268	...
1943	18	92 889	...	...	...	743 842	49 705	...
1947	22	123 837	...	...	...	934 170	79 551	...
1948	23	1) 143 963	* 104 325	* 31 055	...	953 999	79 032	...
1949	24	1) 192 677	* 114 161	* 75 585	...	842 170	82 575	...
1950	25	216 974	106 594	110 380	...	715 081	83 689	108 843
1951	26	217 231	101 237	115 994	...	671 905	82 331	99 865
1952	27	203 824	94 508	109 316	...	676 995	79 021	91 527
1953	28	193 274	89 751	103 523	...	682 077	75 255	85 932
1954	29	187 119	87 201	99 918	...	697 809	76 759	79 776

注： \*印は概数である。

- 1) 昭和23年、24年の死産には自然・人工死産の不詳を含む。
- 2) 妊娠満22週以後の死産に早期新生児死亡を加えたものである。
- 3) 妊娠満28週以後の死産に早期新生児死亡を加えたものである。

(参考)

年次		死産数			2) 周産期 死亡数	婚姻件数	離婚件数	3) 周産期 死亡数
		総数	自然死産	人工死産				
1955	昭和30年	183 265	85 159	98 106	...	714 861	75 267	75 918
1956	31	179 007	86 558	92 449	...	715 934	72 040	75 706
1957	32	176 353	86 895	89 458	...	773 362	71 651	70 502
1958	33	185 148	92 282	92 866	...	826 902	74 004	72 625
1959	34	181 893	92 688	89 205	...	847 135	72 455	69 912
1960	35	179 281	93 424	85 857	...	866 115	69 410	66 552
1961	36	179 895	96 032	83 863	...	890 158	69 323	65 063
1962	37	177 363	97 256	80 107	...	928 341	71 394	62 650
1963	38	175 424	97 711	77 713	...	937 516	69 996	60 049
1964	39	168 046	97 357	70 689	...	963 130	72 306	56 827
1965	40	161 617	94 476	67 141	...	954 852	77 195	54 904
1966	41	148 248	83 253	64 995	...	940 120	79 432	42 583
1967	42	149 389	90 938	58 451	...	953 096	83 478	50 846
1968	43	143 259	87 381	55 878	...	956 312	87 327	45 921
1969	44	139 211	85 788	53 423	...	984 142	91 280	43 419
1970	45	135 095	84 073	51 022	...	1 029 405	95 937	41 917
1971	46	130 920	83 827	47 093	...	1 091 229	103 595	40 900
1972	47	125 154	81 741	43 413	...	1 099 984	108 382	38 754
1973	48	116 171	78 613	37 558	...	1 071 923	111 877	37 598
1974	49	109 738	74 618	35 120	...	1 000 455	113 622	34 383
1975	50	101 862	67 643	34 219	...	941 628	119 135	30 513
1976	51	101 930	64 046	37 884	...	871 543	124 512	27 133
1977	52	95 247	60 330	34 917	...	821 029	129 485	24 708
1978	53	87 463	55 818	31 645	...	793 257	132 146	22 217
1979	54	82 311	51 083	31 228	36 190	788 505	135 250	20 481
1980	55	77 446	47 651	29 795	32 422	774 702	141 689	18 385
1981	56	79 222	46 296	32 926	30 274	776 531	154 221	16 531
1982	57	78 107	44 135	33 972	28 204	781 252	163 980	15 303
1983	58	71 941	40 108	31 833	25 925	762 552	179 150	14 035
1984	59	72 361	37 976	34 385	25 149	739 991	178 746	12 998
1985	60	69 009	33 114	35 895	22 379	735 850	166 640	11 470
1986	61	65 678	31 050	34 628	20 389	710 962	166 054	10 148
1987	62	63 834	29 956	33 878	18 699	696 173	158 227	9 317
1988	63	59 636	26 804	32 832	16 839	707 716	153 600	8 508
1989	平成元年	55 204	24 558	30 646	15 183	708 316	157 811	7 450
1990	2	53 892	23 383	30 509	13 704	722 138	157 608	7 001
1991	3	50 510	22 317	28 193	10 426	742 264	168 969	6 544
1992	4	48 896	21 689	27 207	9 888	754 441	179 191	6 321
1993	5	45 090	20 205	24 885	9 226	792 658	188 297	5 989
1994	6	42 962	19 754	23 208	9 286	782 738	195 106	6 134
1995	7	39 403	18 262	21 141	8 412	791 888	199 016	5 526
1996	8	39 536	18 329	21 207	8 080	795 080	206 955	5 321
1997	9	39 546	17 453	22 093	7 624	775 651	222 635	4 974
1998	10	38 988	16 936	22 052	7 447	784 595	243 183	4 927
1999	11	38 452	16 711	21 741	7 102	762 028	250 529	4 665
2000	12	38 393	16 200	22 193	6 881	798 138	264 246	4 562
2001	13	37 467	15 704	21 763	6 476	799 999	285 911	4 238
2002	14	36 978	15 161	21 817	6 333	757 331	289 836	4 224
2003	15	35 330	14 644	20 686	5 929	740 191	283 854	3 995
2004	16	34 365	14 288	20 077	5 541	720 417	270 804	3 671
2005	17	31 818	13 502	18 316	5 149	714 265	261 917	3 492
2006	18	30 911	13 424	17 487	5 100	730 971	257 475	3 420
2007	* 19	29 323	13 117	16 206	4 903	719 801	254 822	3 302



第2表 人口動態総覧（率）の年次推移（2-1）

年次		出生率	死亡率	乳児死亡率	新生児死亡率	自然増加率	死産率 <sup>1)</sup>	自然死産率	人工死産率
		(人口千対)		(出生千対)		(人口千対)	(出産千対)		
1899	明治 32年	32.0	21.5	153.8	77.9	10.5	89.1	...	...
1900	33	32.4	20.8	155.0	79.0	11.6	88.5	...	...
1901	34	33.9	20.9	149.9	77.1	13.0	93.8	...	...
1902	35	33.6	21.3	154.0	77.2	12.3	94.5	...	...
1903	36	32.7	20.4	152.4	75.8	12.3	93.6	...	...
1904	37	31.2	20.7	151.9	73.9	10.5	92.6	...	...
1905	38	31.2	21.6	151.7	71.2	9.6	89.1	...	...
1906	39	29.6	20.3	153.6	75.5	9.3	97.0	...	...
1907	40	34.0	21.4	151.3	73.5	12.6	89.6	...	...
1908	41	34.7	21.5	158.0	74.5	13.2	89.1	...	...
1909	42	34.9	22.5	167.3	76.5	12.4	87.1	...	...
1910	43	34.8	21.6	161.2	74.1	13.2	84.2	...	...
1911	44	35.1	20.9	158.4	72.8	14.1	81.6	...	...
1912	大正 元年	34.4	20.5	154.2	71.3	13.9	78.3	...	...
1913	2	34.3	20.0	152.1	70.7	14.2	77.6	...	...
1914	3	34.8	21.2	158.5	69.5	13.6	74.6	...	...
1915	4	34.1	20.7	160.4	69.7	13.4	72.8	...	...
1916	5	33.7	22.2	170.3	73.1	11.5	72.0	...	...
1917	6	33.5	22.2	173.2	77.1	11.3	71.9	...	...
1918	7	32.7	27.3	188.6	81.3	5.5	73.7	...	...
1919	8	32.3	23.3	170.5	72.6	9.0	69.5	...	...
1920	9	36.2	25.4	165.7	69.0	10.8	66.4	...	...
1921	10	35.1	22.7	168.3	68.5	12.4	65.0	...	...
1922	11	34.3	22.4	166.4	67.5	11.9	62.9	...	...
1923	12	35.2	22.9	163.4	66.3	12.2	61.5	...	...
1924	13	33.9	21.3	156.2	63.2	12.6	59.2	...	...
1925	14	34.9	20.3	142.4	58.1	14.7	56.3	...	...
1926	昭和 元年	34.6	19.1	137.5	56.9	15.5	55.7	...	...
1927	2	33.4	19.7	141.7	56.4	13.7	53.7	...	...
1928	3	34.1	19.8	137.6	54.2	14.4	53.3	...	...
1929	4	32.7	19.9	142.1	55.4	12.9	53.3	...	...
1930	5	32.4	18.2	124.1	49.9	14.2	53.4	...	...
1931	6	32.1	19.0	131.5	51.7	13.2	52.5	...	...
1932	7	32.9	17.7	117.5	47.9	15.2	51.9	...	...
1933	8	31.5	17.7	121.3	48.5	13.8	51.1	...	...
1934	9	29.9	18.1	124.8	50.6	11.8	52.4	...	...
1935	10	31.6	16.8	106.7	44.7	14.9	50.1	...	...
1936	11	30.0	17.5	116.7	48.1	12.4	50.2	...	...
1937	12	30.9	17.1	105.8	43.8	13.8	48.6	...	...
1938	13	27.2	17.7	114.4	46.2	9.4	49.1	...	...
1939	14	26.6	17.8	106.2	44.3	8.9	49.2	...	...
1940	15	29.4	16.5	90.0	38.7	12.9	46.0	...	...
1941	16	31.8	16.0	84.1	34.2	15.7	43.4	...	...
1942	17	30.9	16.1	85.5	34.1	14.7	41.0	...	...
1943	18	30.9	16.7	86.6	33.8	14.3	39.6	...	...
1947	22	34.3	14.6	76.7	31.4	19.7	44.2	...	...
1948	23	33.5	11.9	61.7	27.5	21.6	50.9	* 36.9	* 10.9
1949	24	33.0	11.6	62.5	26.9	21.4	66.7	* 39.1	* 25.9
1950	25	28.1	10.9	60.1	27.4	17.2	84.9	41.7	43.2
1951	26	25.3	9.9	57.5	27.5	15.4	92.2	43.0	49.3
1952	27	23.4	8.9	49.4	25.4	14.4	92.3	42.8	49.5
1953	28	21.5	8.9	48.9	25.5	12.6	93.8	43.5	50.2
1954	29	20.0	8.2	44.6	24.1	11.9	95.6	44.6	51.1

注： \*印は概数による率である。  
 1) 死産率は死産数を出産数（死産数に出生数を加えたもの）で除している。

年 次		出生率	死亡率	乳児死亡率	新生児死亡率	自然増加率	死産率 <sup>1)</sup>	自然死産率	人工死産率
		(人口千対)		(出生千対)		(人口千対)	(出産千対)		
1955	昭和30年	19.4	7.8	39.8	22.3	11.6	95.8	44.5	51.3
1956	31	18.4	8.0	40.6	23.0	10.4	97.1	46.9	50.1
1957	32	17.2	8.3	40.0	21.6	8.9	101.2	49.9	51.3
1958	33	18.0	7.4	34.5	19.5	10.5	100.7	50.2	50.5
1959	34	17.5	7.4	33.7	18.6	10.1	100.6	51.3	49.3
1960	35	17.2	7.6	30.7	17.0	9.6	100.4	52.3	48.1
1961	36	16.9	7.4	28.6	16.5	9.5	101.7	54.3	47.4
1962	37	17.0	7.5	26.4	15.3	9.5	98.8	54.2	44.6
1963	38	17.3	7.0	23.2	13.8	10.3	95.6	53.3	42.4
1964	39	17.7	6.9	20.4	12.4	10.7	89.2	51.7	37.5
1965	40	18.6	7.1	18.5	11.7	11.4	81.4	47.6	33.8
1966	41	13.7	6.8	19.3	12.0	7.0	98.2	55.2	43.1
1967	42	19.4	6.8	14.9	9.9	12.7	71.6	43.6	28.0
1968	43	18.6	6.8	15.3	9.8	11.8	71.1	43.4	27.7
1969	44	18.5	6.8	14.2	9.1	11.7	68.6	42.3	26.3
1970	45	18.8	6.9	13.1	8.7	11.8	65.3	40.6	24.7
1971	46	19.2	6.6	12.4	8.2	12.6	61.4	39.3	22.1
1972	47	19.3	6.5	11.7	7.8	12.8	57.8	37.8	20.1
1973	48	19.4	6.6	11.3	7.4	12.8	52.6	35.6	17.0
1974	49	18.6	6.5	10.8	7.1	12.1	51.3	34.9	16.4
1975	50	17.1	6.3	10.0	6.8	10.8	50.8	33.8	17.1
1976	51	16.3	6.3	9.3	6.4	10.0	52.7	33.1	19.6
1977	52	15.5	6.1	8.9	6.1	9.4	51.5	32.6	18.9
1978	53	14.9	6.1	8.4	5.6	8.8	48.7	31.1	17.6
1979	54	14.2	6.0	7.9	5.2	8.3	47.7	29.6	18.1
1980	55	13.6	6.2	7.5	4.9	7.3	46.8	28.8	18.0
1981	56	13.0	6.1	7.1	4.7	6.9	49.2	28.8	20.5
1982	57	12.8	6.0	6.6	4.2	6.8	49.0	27.7	21.3
1983	58	12.7	6.2	6.2	3.9	6.5	45.5	25.4	20.1
1984	59	12.5	6.2	6.0	3.7	6.3	46.3	24.3	22.0
1985	60	11.9	6.3	5.5	3.4	5.6	46.0	22.1	23.9
1986	61	11.4	6.2	5.2	3.1	5.2	45.3	21.4	23.9
1987	62	11.1	6.2	5.0	2.9	4.9	45.3	21.2	24.0
1988	63	10.8	6.5	4.8	2.7	4.3	43.4	19.5	23.9
1989	平成元年	10.2	6.4	4.6	2.6	3.7	42.4	18.9	23.5
1990	2	10.0	6.7	4.6	2.6	3.3	42.3	18.3	23.9
1991	3	9.9	6.7	4.4	2.4	3.2	39.7	17.5	22.1
1992	4	9.8	6.9	4.5	2.4	2.9	38.9	17.2	21.6
1993	5	9.6	7.1	4.3	2.3	2.5	36.6	16.4	20.2
1994	6	10.0	7.1	4.2	2.3	2.9	33.5	15.4	18.1
1995	7	9.6	7.4	4.3	2.2	2.1	32.1	14.9	17.2
1996	8	9.7	7.2	3.8	2.0	2.5	31.7	14.7	17.0
1997	9	9.5	7.3	3.7	1.9	2.2	32.1	14.2	17.9
1998	10	9.6	7.5	3.6	2.0	2.1	31.4	13.6	17.8
1999	11	9.4	7.8	3.4	1.8	1.6	31.6	13.7	17.9
2000	12	9.5	7.7	3.2	1.8	1.8	31.2	13.2	18.1
2001	13	9.3	7.7	3.1	1.6	1.6	31.0	13.0	18.0
2002	14	9.2	7.8	3.0	1.7	1.4	31.1	12.7	18.3
2003	15	8.9	8.0	3.0	1.7	0.9	30.5	12.6	17.8
2004	16	8.8	8.2	2.8	1.5	0.7	30.0	12.5	17.5
2005	17	8.4	8.6	2.8	1.4	△ 0.2	29.1	12.3	16.7
2006	18	8.7	8.6	2.6	1.3	0.1	27.5	11.9	15.6
2007	* 19	8.6	8.8	2.6	1.3	△ 0.1	26.2	11.7	14.5

第2表 人口動態総覧(率)の年次推移(2-2)

(参考)

年次	周産期死亡率 (出産千対) <sup>2)</sup>	婚姻率 (人口千対)	離婚率	合計特殊 出生率	年齢調整死亡率 <sup>3)</sup> (人口千対)		周産期死亡率 (出生千対) <sup>4)</sup>	
					男	女		
1899	明治 32 年	...	6.9	1.53	...	...	...	
1900	33	...	7.9	1.46	...	...	...	
1901	34	...	8.5	1.43	...	...	...	
1902	35	...	8.8	1.43	...	...	...	
1903	36	...	8.1	1.44	...	...	...	
1904	37	...	8.6	1.39	...	...	...	
1905	38	...	7.5	1.29	...	...	...	
1906	39	...	7.5	1.39	...	...	...	
1907	40	...	9.1	1.29	...	...	...	
1908	41	...	9.6	1.26	...	...	...	
1909	42	...	9.0	1.21	...	...	...	
1910	43	...	9.0	1.21	...	...	...	
1911	44	...	8.7	1.16	...	...	...	
1912	大正 元年	...	8.5	1.17	...	...	...	
1913	2	...	8.4	1.16	...	...	...	
1914	3	...	8.7	1.15	...	...	...	
1915	4	...	8.4	1.14	...	...	...	
1916	5	...	8.1	1.13	...	...	...	
1917	6	...	8.3	1.03	...	...	...	
1918	7	...	9.1	1.03	...	...	...	
1919	8	...	8.7	1.03	...	...	...	
1920	9	...	9.8	0.99	...	...	...	
1921	10	...	9.2	0.94	...	...	...	
1922	11	...	9.0	0.92	...	...	...	
1923	12	...	8.8	0.88	...	...	...	
1924	13	...	8.7	0.88	...	...	...	
1925	14	...	8.7	0.87	...	...	...	
1926	昭和 元年	...	8.3	0.83	...	...	...	
1927	2	...	7.9	0.82	...	...	...	
1928	3	...	8.0	0.78	...	...	...	
1929	4	...	7.8	0.81	...	...	...	
1930	5	...	7.9	0.80	...	...	...	
1931	6	...	7.6	0.77	...	...	...	
1932	7	...	7.8	0.77	...	...	...	
1933	8	...	7.2	0.73	...	...	...	
1934	9	...	7.5	0.71	...	...	...	
1935	10	...	8.0	0.70	...	...	...	
1936	11	...	7.8	0.66	...	...	...	
1937	12	...	9.5	0.66	...	...	...	
1938	13	...	7.6	0.63	...	...	...	
1939	14	...	7.8	0.64	...	...	...	
1940	15	...	9.3	0.68	...	...	...	
1941	16	...	11.0	0.69	...	...	...	
1942	17	...	9.4	0.64	...	...	...	
1943	18	...	10.2	0.68	...	...	...	
1947	22	...	12.0	1.02	4.54	23.6	18.3	...
1948	23	...	11.9	0.99	4.40	19.3	15.4	...
1949	24	...	10.3	1.01	4.32	18.9	15.0	...
1950	25	...	8.6	1.01	3.65	18.6	14.6	46.6
1951	26	...	7.9	0.97	3.26	16.9	13.4	46.7
1952	27	...	7.9	0.92	2.98	15.7	12.4	45.6
1953	28	...	7.8	0.86	2.69	16.4	12.6	46.0
1954	29	...	7.9	0.87	2.48	15.2	11.3	45.1

注：\*印は概数による率である。

2) 妊娠満22週以後の死産数に早期新生児死亡数を加えたものを出生数(妊娠満22週以後の死産数に出生数を加えたもの)で除している。

3) 年齢調整死亡率は、人口構成の異なる集団間での死亡率を比較するために、年齢階級別死亡率を一定の基準人口(昭和60年モデル人口)にあてはめて算出した指標である。

4) 妊娠満28週以後の死産数に早期新生児死亡数を加えたものを出生数で除している。

(参考)

年次		2) 周産期 死亡率 (出産千対)	婚姻率 (人口千対)	離婚率	合計特殊 出生率	3) 年齢調整死亡率 (人口千対)		4) 周産期 死亡率 (出生千対)
						男	女	
1955	昭和30年	...	8.0	0.84	2.37	14.8	11.0	43.9
1956	31	...	7.9	0.80	2.22	15.6	11.5	45.5
1957	32	...	8.5	0.79	2.04	16.3	11.8	45.0
1958	33	...	9.0	0.80	2.11	14.4	10.4	43.9
1959	34	...	9.1	0.78	2.04	14.4	10.2	43.0
1960	35	...	9.3	0.74	2.00	14.8	10.4	41.4
1961	36	...	9.4	0.74	1.96	14.3	10.0	40.9
1962	37	...	9.8	0.75	1.98	14.6	10.0	38.7
1963	38	...	9.7	0.73	2.00	13.4	9.3	36.2
1964	39	...	9.9	0.74	2.05	13.2	9.1	33.1
1965	40	...	9.7	0.79	2.14	13.7	9.3	30.1
1966	41	...	9.5	0.80	1.58	12.7	8.7	31.3
1967	42	...	9.6	0.84	2.23	12.6	8.5	26.3
1968	43	...	9.5	0.87	2.13	12.5	8.4	24.5
1969	44	...	9.6	0.89	2.13	12.4	8.2	23.0
1970	45	...	10.0	0.93	2.13	12.3	8.2	21.7
1971	46	...	10.5	0.99	2.16	11.5	7.6	20.4
1972	47	...	10.4	1.02	2.14	11.2	7.4	19.0
1973	48	...	9.9	1.04	2.14	11.2	7.4	18.0
1974	49	...	9.1	1.04	2.05	10.9	7.2	16.9
1975	50	...	8.5	1.07	1.91	10.4	6.9	16.0
1976	51	...	7.8	1.11	1.85	10.1	6.6	14.8
1977	52	...	7.2	1.14	1.80	9.6	6.2	14.1
1978	53	...	6.9	1.15	1.79	9.4	6.0	13.0
1979	54	21.6	6.8	1.17	1.77	9.0	5.7	12.5
1980	55	20.2	6.7	1.22	1.75	9.2	5.8	11.7
1981	56	19.5	6.6	1.32	1.74	8.9	5.6	10.8
1982	57	18.3	6.6	1.39	1.77	8.5	5.2	10.1
1983	58	16.9	6.4	1.51	1.80	8.6	5.2	9.3
1984	59	16.6	6.2	1.50	1.81	8.3	5.0	8.7
1985	60	15.4	6.1	1.39	1.76	8.1	4.8	8.0
1986	61	14.6	5.9	1.37	1.72	7.8	4.6	7.3
1987	62	13.7	5.7	1.30	1.69	7.6	4.4	6.9
1988	63	12.7	5.8	1.26	1.66	7.7	4.5	6.5
1989	平成元年	12.1	5.8	1.29	1.57	7.4	4.2	6.0
1990	2	11.1	5.9	1.28	1.54	7.5	4.2	5.7
1991	3	8.5	6.0	1.37	1.53	7.4	4.1	5.3
1992	4	8.1	6.1	1.45	1.50	7.4	4.0	5.2
1993	5	7.7	6.4	1.52	1.46	7.3	4.0	5.0
1994	6	7.5	6.3	1.57	1.50	7.1	3.8	5.0
1995	7	7.0	6.4	1.60	1.42	7.2	3.8	4.7
1996	8	6.7	6.4	1.66	1.43	6.8	3.6	4.4
1997	9	6.4	6.2	1.78	1.39	6.7	3.5	4.2
1998	10	6.2	6.3	1.94	1.38	6.6	3.4	4.1
1999	11	6.0	6.1	2.00	1.34	6.7	3.4	4.0
2000	12	5.8	6.4	2.10	1.36	6.3	3.2	3.8
2001	13	5.5	6.4	2.27	1.33	6.2	3.1	3.6
2002	14	5.5	6.0	2.30	1.32	6.0	3.0	3.7
2003	15	5.3	5.9	2.25	1.29	6.0	3.0	3.6
2004	16	5.0	5.7	2.15	1.29	5.9	3.0	3.3
2005	17	4.8	5.7	2.08	1.26	5.9	3.0	3.3
2006	18	4.7	5.8	2.04	1.32	5.7	2.9	3.1
2007	*19	4.5	5.7	2.02	1.34	...	...	3.0

第3表 出生数の年次推移，母の年齢（5歳階級）別

母の年齢	昭和50年	60	平成7年	16	17	18	19
総数	1 901 440	1 431 577	1 187 064	1 110 721	1 062 530	1 092 674	1 089 745
～14歳	9	23	37	45	42	41	39
15～19	15 990	17 854	16 075	18 546	16 531	15 933	15 206
20～24	479 041	247 341	193 514	136 486	128 135	130 230	126 172
25～29	1 014 624	682 885	492 714	370 220	339 328	335 771	324 020
30～34	320 060	381 466	371 773	415 903	404 700	417 776	412 587
35～39	62 663	93 501	100 053	150 222	153 440	170 775	186 554
40～44	8 727	8 224	12 472	18 790	19 750	21 608	24 552
45～49	312	244	414	483	564	522	590
50歳以上	7	1	-	16	34	9	19

注：総数には母の年齢不詳を含む。

第4表 出生数の年次推移，出生順位別

出生順位	昭和50年	60	平成7年	16	17	18	19
総数	1 901 440	1 431 577	1 187 064	1 110 721	1 062 530	1 092 674	1 089 745
第1子	862 356	602 005	567 530	537 913	512 412	524 581	519 743
第2子	767 669	562 920	428 394	417 647	399 307	408 531	403 619
第3子以上	271 415	266 652	191 140	155 161	150 811	159 562	166 383

第5表 死亡率（人口10万対）の年次推移，性・年齢（5歳階級）別

総数 (3-1)

年齢	昭和40年	50	60	平成7年	17	18	19
総数	712.7	631.2	625.5	741.9	858.8	859.6	879.0
0～4歳	523.4	260.5	145.3	118.3	73.9	72.3	70.8
5～9	57.8	36.1	21.1	19.0	11.1	10.4	9.5
10～14	39.4	24.9	16.5	15.9	9.8	9.6	9.0
15～19	68.0	60.2	47.2	39.6	27.6	28.0	25.8
20～24	114.7	81.4	57.1	52.1	46.9	44.5	43.4
25～29	133.5	82.6	60.9	53.4	51.5	50.7	48.2
30～34	162.9	106.5	74.5	64.4	62.0	59.6	59.0
35～39	214.7	152.9	104.2	88.7	86.9	81.3	83.1
40～44	292.8	241.6	175.6	143.7	128.5	128.5	124.8
45～49	458.0	354.8	277.1	228.9	205.9	201.6	196.4
50～54	713.4	510.8	455.6	371.5	331.3	316.5	308.5
55～59	1 147.9	802.9	654.3	565.3	484.9	475.0	480.5
60～64	1 922.6	1 297.2	948.7	917.4	730.1	720.1	694.8
65～69	3 161.2	2 230.4	1 554.0	1 397.9	1 088.9	1 045.2	1 027.2
70～74	5 297.3	3 931.4	2 717.5	2 191.5	1 821.1	1 729.2	1 692.5
75～79	8 927.2	6 712.6	4 980.5	3 827.8	3 029.1	2 952.9	2 881.2
80～84	14 918.1	11 461.4	8 540.5	6 882.0	5 109.4	4 895.6	4 889.7
85～89	21 656.2	18 042.0	14 725.6	11 847.5	8 947.0	8 626.6	8 487.3
90～94	28 683.1	29 126.2	23 364.8	21 468.2	15 167.7	14 694.6	14 582.9
95～99	…	…	…	…	23 894.8	22 968.5	22 685.4
100歳以上	…	…	…	…	37 771.1	35 655.2	33 365.7

注：1) 総数には年齢不詳を含む。

2) 昭和40年～平成7年の90～94歳は90歳以上の数値である。

第5表 死亡率（人口10万対）の年次推移，性・年齢（5歳階級）別

男 (3-2)

年 齢	昭和40年	50	60	平成7年	17	18	19
総 数	785.0	690.4	690.6	822.9	949.4	944.3	963.7
0～4歳	587.6	292.6	158.8	129.0	80.6	77.2	75.6
5～9	70.7	44.7	26.6	22.6	13.5	11.5	10.5
10～14	48.4	30.0	19.9	18.8	11.8	11.7	10.7
15～19	91.7	86.5	69.8	55.4	36.4	37.0	34.2
20～24	149.2	107.0	81.4	73.1	62.4	59.4	57.9
25～29	162.2	103.5	80.7	73.3	70.1	66.3	63.5
30～34	199.8	132.3	93.3	81.7	80.5	78.2	78.1
35～39	260.1	194.2	131.9	113.5	113.1	105.3	107.6
40～44	360.0	315.8	227.7	183.8	169.3	167.3	164.4
45～49	566.8	458.8	371.7	295.2	275.6	268.9	259.1
50～54	892.5	654.2	624.6	498.6	448.1	424.5	411.5
55～59	1 465.3	1 070.5	906.7	784.7	675.9	660.5	669.7
60～64	2 483.4	1 720.9	1 314.9	1 311.6	1 046.2	1 041.4	996.8
65～69	4 022.8	2 949.0	2 159.4	2 002.8	1 559.7	1 494.0	1 476.4
70～74	6 641.2	5 045.4	3 707.7	3 154.7	2 637.3	2 490.6	2 439.3
75～79	10 802.0	8 267.6	6 581.0	5 461.1	4 401.7	4 288.6	4 175.9
80～84	17 517.4	13 470.6	10 799.1	9 484.5	7 328.5	6 975.0	7 009.8
85～89	25 131.8	20 562.4	18 136.2	15 648.6	12 638.9	12 103.0	11 905.5
90～94	30 164.6	30 858.0	25 429.3	26 734.7	20 217.3	19 467.9	19 276.9
95～99	…	…	…	…	30 937.2	29 600.0	28 444.0
100歳以上	…	…	…	…	46 157.9	43 350.0	39 060.0

注：1) 総数には年齢不詳を含む。

2) 昭和40年～平成7年の90～94歳は90歳以上の数値である。

第5表 死亡率（人口10万対）の年次推移，性・年齢（5歳階級）別

女 (3-3)

年 齢	昭和40年	50	60	平成7年	17	18	19
総 数	643.1	574.0	562.7	664.0	772.3	778.9	798.3
0～4歳	456.6	226.8	131.2	107.2	66.9	67.1	65.8
5～9	44.3	27.1	15.3	15.2	8.6	9.3	8.4
10～14	30.2	19.5	13.1	12.9	7.8	7.4	7.2
15～19	43.7	33.0	23.7	22.9	18.4	18.5	17.0
20～24	80.8	55.5	31.8	30.2	30.5	28.9	28.1
25～29	105.2	61.5	40.7	32.8	32.2	34.5	32.3
30～34	125.6	80.6	55.6	46.6	43.1	40.4	39.4
35～39	169.3	111.6	76.0	63.5	60.2	56.7	58.0
40～44	236.0	167.0	124.1	103.2	86.9	88.9	84.3
45～49	368.2	252.2	184.6	162.1	135.8	133.9	133.2
50～54	556.9	392.6	289.7	246.8	214.9	208.9	205.7
55～59	852.2	590.4	414.9	353.7	297.4	293.0	295.3
60～64	1 392.7	948.6	663.0	548.9	430.7	416.0	407.9
65～69	2 379.6	1 630.1	1 106.4	864.2	659.0	634.2	615.9
70～74	4 187.7	3 036.7	1 998.4	1 513.4	1 130.4	1 081.6	1 054.0
75～79	7 611.8	5 590.0	3 871.3	2 814.8	1 998.0	1 941.5	1 894.7
80～84	13 493.9	10 227.3	7 165.7	5 429.7	3 870.6	3 683.6	3 599.5
85～89	20 153.1	16 820.0	13 067.1	10 072.4	7 364.1	7 154.7	7 049.2
90～94	28 134.0	28 499.9	22 490.8	19 574.7	13 480.3	13 113.0	13 055.0
95～99	…	…	…	…	22 176.4	21 397.9	21 314.3
100歳以上	…	…	…	…	36 310.6	35 858.3	32 416.7

注：1) 総数には年齢不詳を含む。

2) 昭和40年～平成7年の90～94歳は90歳以上の数値である。



第6表 死亡数・死亡率（人口10万対），死因简单分類別

(4-1)

死因简单 分類コード	死 因	死 亡 数		死 亡 率		死亡総数 に占める 割合(%)
		平成19年	平成18年	平成19年	平成18年	平成19年
	総 数	1 108 280	1 084 450	879.0	859.6	100.0
01000	感染症及び寄生虫症	24 262	24 011	19.2	19.0	2.2
01100	腸管感染症	2 223	2 190	1.8	1.7	0.2
01200	結 核	2 188	2 269	1.7	1.8	0.2
01201	呼吸器結核	1 990	1 997	1.6	1.6	0.2
01202	その他の結核	198	272	0.2	0.2	0.0
01300	敗 血 症	9 257	8 862	7.3	7.0	0.8
01400	ウイルス肝炎	5 651	5 815	4.5	4.6	0.5
01401	B型ウイルス肝炎	685	689	0.5	0.5	0.1
01402	C型ウイルス肝炎	4 618	4 786	3.7	3.8	0.4
01403	その他のウイルス肝炎	348	340	0.3	0.3	0.0
01500	ヒト免疫不全ウイルス [H I V] 病	66	60	0.1	0.0	0.0
01600	その他の感染症及び寄生虫症	4 877	4 815	3.9	3.8	0.4
02000	新 生 物	346 337	339 424	274.7	269.1	31.2
02100	悪性新生物	336 290	329 314	266.7	261.0	30.3
02101	口唇，口腔及び咽頭の悪性新生物	6 294	6 018	5.0	4.8	0.6
02102	食道の悪性新生物	11 666	11 345	9.3	9.0	1.1
02103	胃の悪性新生物	50 577	50 415	40.1	40.0	4.6
02104	結腸の悪性新生物	27 917	27 317	22.1	21.7	2.5
02105	直腸S状結腸移行部及び 直腸の悪性新生物	13 919	13 739	11.0	10.9	1.3
02106	肝及び肝内胆管の悪性新生物	33 583	33 662	26.6	26.7	3.0
02107	胆のう及び その他の胆道の悪性新生物	16 834	16 855	13.4	13.4	1.5
02108	膵の悪性新生物	24 612	23 366	19.5	18.5	2.2
02109	喉頭の悪性新生物	1 028	1 003	0.8	0.8	0.1
02110	気管，気管支及び肺の悪性新生物	65 576	63 255	52.0	50.1	5.9
02111	皮膚の悪性新生物	1 240	1 261	1.0	1.0	0.1
02112	乳房の悪性新生物	11 413	11 274	9.1	8.9	1.0
02113	子宮の悪性新生物 <sup>1)</sup>	5 621	5 513	8.7	8.5	0.5
02114	卵巣の悪性新生物 <sup>1)</sup>	4 465	4 435	6.9	6.9	0.4
02115	前立腺の悪性新生物 <sup>2)</sup>	9 778	9 527	15.9	15.5	0.9
02116	膀胱の悪性新生物	6 168	6 126	4.9	4.9	0.6

注：1) 女性人口10万に対する率である。

2) 男性人口10万に対する率である。

死因簡単 分類コード	死 因	死 亡 数		死 亡 率		死亡総数 に占める 割合(%)
		平成19年	平成18年	平成19年	平成18年	平成19年
02117	中枢神経系の悪性新生物	1 610	1 708	1.3	1.4	0.1
02118	悪性リンパ腫	9 156	8 639	7.3	6.8	0.8
02119	白 血 病	7 600	7 429	6.0	5.9	0.7
02120	その他のリンパ組織, 造血組織及び 関連組織の悪性新生物	4 064	3 910	3.2	3.1	0.4
02121	その他の悪性新生物	23 169	22 517	18.4	17.8	2.1
02200	その他の新生物	10 047	10 110	8.0	8.0	0.9
02201	中枢神経系のその他の新生物	2 735	2 990	2.2	2.4	0.2
02202	中枢神経系を除くその他の新生物	7 312	7 120	5.8	5.6	0.7
03000	血液及び造血器の疾患並びに 免疫機構の障害	4 121	4 180	3.3	3.3	0.4
03100	貧 血	1 624	1 589	1.3	1.3	0.1
03200	その他の血液及び造血器の疾患 並びに免疫機構の障害	2 497	2 591	2.0	2.1	0.2
04000	内分泌, 栄養及び代謝疾患	20 275	19 605	16.1	15.5	1.8
04100	糖 尿 病	13 971	13 650	11.1	10.8	1.3
04200	その他の内分泌, 栄養及び代謝疾患	6 304	5 955	5.0	4.7	0.6
05000	精神及び行動の障害	5 769	5 168	4.6	4.1	0.5
05100	血管性及び詳細不明の認知症	4 493	3 920	3.6	3.1	0.4
05200	その他の精神及び行動の障害	1 276	1 248	1.0	1.0	0.1
06000	神経系の疾患	15 286	14 251	12.1	11.3	1.4
06100	髄 膜 炎	380	342	0.3	0.3	0.0
06200	脊髄性筋萎縮症及び関連症候群	1 848	1 759	1.5	1.4	0.2
06300	パーキンソン病	4 080	3 856	3.2	3.1	0.4
06400	アルツハイマー病	2 589	2 286	2.1	1.8	0.2
06500	その他の神経系の疾患	6 389	6 008	5.1	4.8	0.6
07000	眼及び付属器の疾患	5	9	0.0	0.0	0.0
08000	耳及び乳様突起の疾患	30	15	0.0	0.0	0.0
09000	循環器系の疾患	327 179	324 786	259.5	257.5	29.5
09100	高血圧性疾患	6 141	5 810	4.9	4.6	0.6
09101	高血圧性心疾患及び心腎疾患	3 607	3 348	2.9	2.7	0.3
09102	その他の高血圧性疾患	2 534	2 462	2.0	2.0	0.2
09200	心疾患 (高血圧性を除く)	175 396	173 024	139.1	137.2	15.8
09201	慢性リウマチ性心疾患	2 427	2 445	1.9	1.9	0.2
09202	急性心筋梗塞	43 749	45 067	34.7	35.7	3.9
09203	その他の虚血性心疾患	31 311	30 362	24.8	24.1	2.8
09204	慢性非リウマチ性心内膜疾患	8 064	7 481	6.4	5.9	0.7

第6表 死亡数・死亡率(人口10万対), 死因简单分類別

(4-3)

死因简单 分類コード	死 因	死 亡 数		死 亡 率		死亡総数 に占める 割合(%)
		平成19年	平成18年	平成19年	平成18年	平成18年
09205	心 筋 症	3 543	3 655	2.8	2.9	0.3
09206	不整脈及び伝導障害	21 707	21 290	17.2	16.9	2.0
09207	心 不 全	60 247	58 418	47.8	46.3	5.4
09208	その他の心疾患	4 348	4 306	3.4	3.4	0.4
09300	脳血管疾患	126 940	128 268	100.7	101.7	11.5
09301	くも膜下出血	14 227	14 466	11.3	11.5	1.3
09302	脳内出血	33 110	33 290	26.3	26.4	3.0
09303	脳 梗 塞	76 193	77 008	60.4	61.0	6.9
09304	その他の脳血管疾患	3 410	3 504	2.7	2.8	0.3
09400	大動脈瘤及び解離	12 361	11 665	9.8	9.2	1.1
09500	その他の循環器系疾患	6 341	6 019	5.0	4.8	0.6
10000	呼吸器系の疾患	167 925	162 907	133.2	129.1	15.2
10100	インフルエンザ	696	865	0.6	0.7	0.1
10200	肺 炎	110 080	107 242	87.3	85.0	9.9
10300	急性気管支炎	771	853	0.6	0.7	0.1
10400	慢性閉塞性肺疾患	14 890	14 357	11.8	11.4	1.3
10500	喘 息	2 533	2 778	2.0	2.2	0.2
10600	その他の呼吸器系の疾患	38 955	36 812	30.9	29.2	3.5
11000	消化器系の疾患	42 955	42 429	34.1	33.6	3.9
11100	胃潰瘍及び十二指腸潰瘍	3 261	3 403	2.6	2.7	0.3
11200	ヘルニア及び腸閉塞	5 710	5 585	4.5	4.4	0.5
11300	肝 疾 患	16 164	16 267	12.8	12.9	1.5
11301	肝 硬 変 (アルコール性を除く)	8 946	9 064	7.1	7.2	0.8
11302	その他の肝疾患	7 218	7 203	5.7	5.7	0.7
11400	その他の消化器系の疾患	17 820	17 174	14.1	13.6	1.6
12000	皮膚及び皮下組織の疾患	971	990	0.8	0.8	0.1
13000	筋骨格系及び結合組織の疾患	4 993	4 848	4.0	3.8	0.5
14000	腎尿路生殖器系の疾患	28 925	27 859	22.9	22.1	2.6
14100	糸球体疾患及び腎尿細管間質性疾患	3 363	3 164	2.7	2.5	0.3
14200	腎 不 全	21 606	21 158	17.1	16.8	1.9
14201	急性腎不全	3 915	3 962	3.1	3.1	0.4
14202	慢性腎不全	12 619	12 084	10.0	9.6	1.1
14203	詳細不明の腎不全	5 072	5 112	4.0	4.1	0.5
14300	その他の腎尿路生殖器系の疾患	3 956	3 537	3.1	2.8	0.4

死因簡単 分類コード	死 因	死 亡 数		死 亡 率		死亡総数 に占める 割合(%)
		平成19年	平成18年	平成19年	平成18年	平成19年
15000	妊娠, 分娩及び産じょく <sup>1)</sup>	38	63	0.1	0.1	0.0
16000	周産期に発生した病態	807	828	0.6	0.7	0.1
16100	妊娠期間及び胎児発育に関連する障害	82	86	0.1	0.1	0.0
16200	出産外傷	10	9	0.0	0.0	0.0
16300	周産期に特異的な呼吸障害 及び心血管障害	386	403	0.3	0.3	0.0
16400	周産期に特異的な感染症	86	69	0.1	0.1	0.0
16500	胎児及び新生児の出血性障害 及び血液障害	125	151	0.1	0.1	0.0
16600	その他の周産期に発生した病態	118	110	0.1	0.1	0.0
17000	先天奇形, 変形及び染色体異常	2 312	2 306	1.8	1.8	0.2
17100	神経系の先天奇形	107	95	0.1	0.1	0.0
17200	循環器系の先天奇形	1 199	1 178	1.0	0.9	0.1
17201	心臓の先天奇形	894	887	0.7	0.7	0.1
17202	その他の循環器系の先天奇形	305	291	0.2	0.2	0.0
17300	消化器系の先天奇形	118	106	0.1	0.1	0.0
17400	その他の先天奇形及び変形	563	632	0.4	0.5	0.1
17500	染色体異常, 他に分類されないもの	325	295	0.3	0.2	0.0
18000	症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査 所見で他に分類されないもの	42 487	37 659	33.7	29.9	3.8
18100	老 衰	30 712	27 764	24.4	22.0	2.8
18200	乳幼児突然死症候群	156	194	0.1	0.2	0.0
18300	その他の症状, 徴候及び異常臨床所見 ・異常検査所見で他に分類されないもの	11 619	9 701	9.2	7.7	1.0
20000	傷病及び死亡の外因	73 603	73 112	58.4	58.0	6.6
20100	不慮の事故	37 874	38 270	30.0	30.3	3.4
20101	交通事故	8 192	9 048	6.5	7.2	0.7
20102	転倒・転落	6 590	6 601	5.2	5.2	0.6
20103	不慮の溺死及び溺水	5 949	6 038	4.7	4.8	0.5
20104	不慮の窒息	9 051	9 187	7.2	7.3	0.8
20105	煙, 火及び火炎への曝露	1 479	1 509	1.2	1.2	0.1
20106	有害物質による不慮の中毒及び 有害物質への曝露	821	873	0.7	0.7	0.1
20107	その他の不慮の事故	5 792	5 014	4.6	4.0	0.5
20200	自 殺	30 777	29 921	24.4	23.7	2.8
20300	他 殺	517	580	0.4	0.5	0.0
20400	その他の外因	4 435	4 341	3.5	3.4	0.4
22000	特殊目的用コード	-	-	-	-	-
22100	重症急性呼吸器症候群 [SARS]	-	-	-	-	-

第7表 死因順位<sup>1)</sup> (1~5位) 別死亡数・死亡率 (人口10万対), 性・

総数 (3-1)

年 齢	第1位			第2位			第3位		
	死 因	死亡数	死亡率	死 因	死亡数	死亡率	死 因	死亡数	死亡率
総数 <sup>3)</sup>	悪性新生物	336 290	266.7	心 疾 患	175 396	139.1	脳血管疾患	126 940	100.7
0歳 <sup>2)</sup>	先天奇形等	1 041	95.5	呼吸障害等	375	34.4	乳幼児突然死候群	145	13.3
1~4	不慮の事故	177	4.1	先天奇形等	159	3.7	悪性新生物	85	2.0
5~9	不慮の事故	151	2.6	悪性新生物	96	1.6	肺 炎	37	0.6
10~14	不慮の事故	125	2.1	悪性新生物	111	1.9	自 殺	47	0.8
15~19	不慮の事故	537	8.7	自 殺	456	7.4	悪性新生物	160	2.6
20~24	自 殺	1 392	19.8	不慮の事故	663	9.4	悪性新生物	247	3.5
25~29	自 殺	1 628	21.5	不慮の事故	595	7.9	悪性新生物	368	4.9
30~34	自 殺	2 042	22.3	悪性新生物	888	9.7	不慮の事故	636	6.9
35~39	自 殺	2 349	25.4	悪性新生物	1 688	18.3	心 疾 患	815	8.8
40~44	悪性新生物	2 719	33.7	自 殺	2 263	28.1	心 疾 患	1 211	15.0
45~49	悪性新生物	5 024	65.9	自 殺	2 508	32.9	心 疾 患	1 743	22.9
50~54	悪性新生物	10 162	127.6	心 疾 患	2 856	35.9	自 殺	2 772	34.8
55~59	悪性新生物	22 963	221.7	心 疾 患	5 867	56.6	脳血管疾患	4 128	39.8
60~64	悪性新生物	28 222	335.2	心 疾 患	7 106	84.4	脳血管疾患	4 955	58.9
65~69	悪性新生物	37 619	482.5	心 疾 患	10 069	129.1	脳血管疾患	6 993	89.7
70~74	悪性新生物	50 683	735.3	心 疾 患	15 560	225.7	脳血管疾患	11 424	165.7
75~79	悪性新生物	59 239	1 068.3	心 疾 患	23 171	417.9	脳血管疾患	17 827	321.5
80~84	悪性新生物	54 147	1 406.1	心 疾 患	31 118	808.0	脳血管疾患	23 877	620.0
85~89	悪性新生物	36 478	1 785.5	心 疾 患	32 793	1 605.1	肺 炎	24 934	1 220.5
90~94	心 疾 患	27 343	2 959.2	肺 炎	22 579	2 443.6	悪性新生物	19 345	2 093.6
95~99	心 疾 患	12 261	4 715.8	肺 炎	10 530	4 050.0	老 衰	8 094	3 113.1
100歳以上	老 衰	2 769	7 911.4	心 疾 患	2 233	6 380.0	肺 炎	2 101	6 002.9

注: 1) (1) 乳児(0歳)の死因については乳児死因順位に用いる分類項目を使用している。

(2) 死因名は次のように略称した。

心疾患←心疾患(高血圧性を除く)

先天奇形等←先天奇形, 変形及び染色体異常

呼吸障害等←周産期に特異的な呼吸障害及び心血管障害

出血性障害等←胎児及び新生児の出血性障害及び血液障害

2) 0歳の死亡率は出生10万に対する率である。

3) 総数には年齢不詳を含む。

年齢（5歳階級）別

平成19年

第4位			第5位			年 齢
死 因	死亡数	死亡率	死 因	死亡数	死亡率	
肺 炎	110 080	87.3	不 慮 の 事 故	37 874	30.0	総 数
不 慮 の 事 故	125	11.5	出 血 性 障 害 等	121	11.1	0 歳
心 疾 患	60	1.4	肺 炎	59	1.4	1～4
先 天 奇 形 等	36	0.6	心 疾 患	31	0.5	5～9
心 疾 患	36	0.6	先 天 奇 形 等	28	0.5	10～14
心 疾 患	84	1.4	先 天 奇 形 等	35	0.6	15～19
心 疾 患	162	2.3	脳 血 管 疾 患	45	0.6	20～24
心 疾 患	269	3.6	脳 血 管 疾 患	82	1.1	25～29
心 疾 患	501	5.5	脳 血 管 疾 患	256	2.8	30～34
不 慮 の 事 故	752	8.1	脳 血 管 疾 患	500	5.4	35～39
脳 血 管 疾 患	863	10.7	不 慮 の 事 故	765	9.5	40～44
脳 血 管 疾 患	1 453	19.1	不 慮 の 事 故	930	12.2	45～49
脳 血 管 疾 患	2 246	28.2	不 慮 の 事 故	1 168	14.7	50～54
自 殺	3 802	36.7	不 慮 の 事 故	2 119	20.5	55～59
自 殺	2 893	34.4	不 慮 の 事 故	2 159	25.6	60～64
肺 炎	3 359	43.1	不 慮 の 事 故	2 845	36.5	65～69
肺 炎	6 926	100.5	不 慮 の 事 故	3 908	56.7	70～74
肺 炎	13 761	248.2	不 慮 の 事 故	5 186	93.5	75～79
肺 炎	21 854	567.5	不 慮 の 事 故	5 782	150.1	80～84
脳 血 管 疾 患	23 988	1 174.2	老 衰	5 910	289.3	85～89
脳 血 管 疾 患	18 946	2 050.4	老 衰	10 213	1 105.3	90～94
脳 血 管 疾 患	7 954	3 059.2	悪 性 新 生 物	5 402	2 077.7	95～99
脳 血 管 疾 患	1 329	3 797.1	悪 性 新 生 物	607	1 734.3	100歳以上

第7表 死因順位<sup>1)</sup> (1~5位) 別死亡数・死亡率 (人口10万対), 性・

男 (3-2)

年 齢	第1位			第2位			第3位		
	死 因	死亡数	死亡率	死 因	死亡数	死亡率	死 因	死亡数	死亡率
総数 <sup>3)</sup>	悪性新生物	202 628	329.4	心 疾 患	83 009	134.9	脳血管疾患	60 938	99.1
0歳 <sup>2)</sup>	先天奇形等	522	93.2	呼吸障害等	188	33.6	乳幼児突然死 症候群	96	17.1
1~4	不慮の事故	112	5.1	先天奇形等	84	3.8	悪性新生物	52	2.4
5~9	不慮の事故	93	3.1	悪性新生物	61	2.0	先天奇形等	20	0.7
10~14	不慮の事故	84	2.8	悪性新生物	64	2.1	自 殺	31	1.0
15~19	不慮の事故	419	13.2	自 殺	285	9.0	悪性新生物	101	3.2
20~24	自 殺	968	26.8	不慮の事故	501	13.9	悪性新生物	140	3.9
25~29	自 殺	1 108	28.8	不慮の事故	456	11.8	心 疾 患	211	5.5
30~34	自 殺	1 483	31.9	不慮の事故	501	10.8	悪性新生物	394	8.5
35~39	自 殺	1 730	37.0	悪性新生物	704	15.0	心 疾 患	623	13.3
40~44	自 殺	1 711	42.0	悪性新生物	1 250	30.7	心 疾 患	975	23.9
45~49	悪性新生物	2 447	63.9	自 殺	1 990	52.0	心 疾 患	1 374	35.9
50~54	悪性新生物	5 607	141.0	心 疾 患	2 257	56.8	自 殺	2 161	54.4
55~59	悪性新生物	14 181	276.8	心 疾 患	4 627	90.3	自 殺	2 985	58.3
60~64	悪性新生物	18 864	459.9	心 疾 患	5 410	131.9	脳血管疾患	3 462	84.4
65~69	悪性新生物	25 649	688.2	心 疾 患	7 205	193.3	脳血管疾患	4 791	128.5
70~74	悪性新生物	34 570	1 088.1	心 疾 患	9 939	312.8	脳血管疾患	7 335	230.9
75~79	悪性新生物	39 145	1 632.4	心 疾 患	13 248	552.5	脳血管疾患	10 621	442.9
80~84	悪性新生物	32 234	2 212.4	心 疾 患	14 580	1 000.7	肺 炎	13 327	914.7
85~89	悪性新生物	17 378	2 872.4	肺 炎	12 156	2 009.3	心 疾 患	11 476	1 896.9
90~94	肺 炎	9 206	4 020.1	悪性新生物	7 747	3 383.0	心 疾 患	7 510	3 279.5
95~99	肺 炎	3 308	6 616.0	心 疾 患	2 559	5 118.0	悪性新生物	1 689	3 378.0
100歳以上	肺 炎	442	8 840.0	老 衰	371	7 420.0	心 疾 患	325	6 500.0

注: 1) [1] 乳児(0歳)の死因については乳児死因順位に用いる分類項目を使用している。

[2] 死因名は次のように略称した。

心疾患←心疾患(高血圧性を除く)

先天奇形等←先天奇形, 変形及び染色体異常

呼吸障害等←周産期に特異的な呼吸障害及び心血管障害

出血性障害等←胎児及び新生児の出血性障害及び血液障害

2) 0歳の死亡率は出生10万に対する率である。

3) 総数には年齢不詳を含む。

年齢（5歳階級）別

平成19年

第4位			第5位			年 齢
死 因	死亡数	死亡率	死 因	死亡数	死亡率	
肺 炎	58 532	95.2	不 慮 の 事 故	22 642	36.8	総 数
不 慮 の 事 故	76	13.6	出 血 性 障 害 等	68	12.1	0 歳
肺 炎	28	1.3	心 疾 患	27	1.2	1～4
肺 炎	18	0.6	心 疾 患	16	0.5	5～9
心 疾 患	23	0.8	先 天 奇 形 等	13	0.4	10～14
心 疾 患	57	1.8	先 天 奇 形 等	22	0.7	15～19
心 疾 患	127	3.5	脳 血 管 疾 患	26	0.7	20～24
悪 性 新 生 物	197	5.1	脳 血 管 疾 患	55	1.4	25～29
心 疾 患	373	8.0	脳 血 管 疾 患	172	3.7	30～34
不 慮 の 事 故	582	12.4	脳 血 管 疾 患	355	7.6	35～39
脳 血 管 疾 患	601	14.8	不 慮 の 事 故	587	14.4	40～44
脳 血 管 疾 患	970	25.3	不 慮 の 事 故	724	18.9	45～49
脳 血 管 疾 患	1 535	38.6	不 慮 の 事 故	901	22.7	50～54
脳 血 管 疾 患	2 884	56.3	不 慮 の 事 故	1 594	31.1	55～59
自 殺	2 098	51.1	不 慮 の 事 故	1 570	38.3	60～64
肺 炎	2 488	66.8	不 慮 の 事 故	1 971	52.9	65～69
肺 炎	5 063	159.4	不 慮 の 事 故	2 532	79.7	70～74
肺 炎	9 544	398.0	不 慮 の 事 故	3 173	132.3	75～79
脳 血 管 疾 患	11 941	819.6	慢 性 閉 塞 性 肺 疾 患	3 338	229.1	80～84
脳 血 管 疾 患	8 902	1 471.4	慢 性 閉 塞 性 肺 疾 患	2 318	383.1	85～89
脳 血 管 疾 患	5 431	2 371.6	老 衰	2 307	1 007.4	90～94
脳 血 管 疾 患	1 603	3 206.0	老 衰	1 448	2 896.0	95～99
脳 血 管 疾 患	203	4 060.0	悪 性 新 生 物	133	2 660.0	100歳以上



第7表 死因順位<sup>1)</sup> (1~5位) 別死亡数・死亡率 (人口10万対), 性・

女 (3-3)

年 齢	第1位			第2位			第3位		
	死 因	死亡数	死亡率	死 因	死亡数	死亡率	死 因	死亡数	死亡率
総数 <sup>3)</sup>	悪性新生物	133 662	207.0	心 疾 患	92 387	143.1	脳血管疾患	66 002	102.2
0歳 <sup>2)</sup>	先天奇形等	519	97.9	呼吸障害等	187	35.3	出血性障害等	53	10.0
1~4	先天奇形等	75	3.6	不慮の事故	65	3.1	悪性新生物 心 疾 患	33	1.6
5~9	不慮の事故	58	2.0	悪性新生物	35	1.2	肺 炎	19	0.7
10~14	悪性新生物	47	1.6	不慮の事故	41	1.4	自 殺	16	0.6
15~19	自 殺	171	5.7	不慮の事故	118	3.9	悪性新生物	59	2.0
20~24	自 殺	424	12.4	不慮の事故	162	4.7	悪性新生物	107	3.1
25~29	自 殺	520	14.0	悪性新生物	171	4.6	不慮の事故	139	3.8
30~34	自 殺	559	12.4	悪性新生物	494	11.0	不慮の事故	135	3.0
35~39	悪性新生物	984	21.6	自 殺	619	13.6	心 疾 患	192	4.2
40~44	悪性新生物	1 469	36.8	自 殺	552	13.8	脳血管疾患	262	6.6
45~49	悪性新生物	2 577	68.0	自 殺	518	13.7	脳血管疾患	483	12.7
50~54	悪性新生物	4 555	114.3	脳血管疾患	711	17.8	自 殺	611	15.3
55~59	悪性新生物	8 782	167.8	脳血管疾患	1 244	23.8	心 疾 患	1 240	23.7
60~64	悪性新生物	9 358	216.8	心 疾 患	1 696	39.3	脳血管疾患	1 493	34.6
65~69	悪性新生物	11 970	294.1	心 疾 患	2 864	70.4	脳血管疾患	2 202	54.1
70~74	悪性新生物	16 113	433.6	心 疾 患	5 621	151.3	脳血管疾患	4 089	110.0
75~79	悪性新生物	20 094	638.5	心 疾 患	9 923	315.3	脳血管疾患	7 206	229.0
80~84	悪性新生物	21 913	915.3	心 疾 患	16 538	690.8	脳血管疾患	11 936	498.6
85~89	心 疾 患	21 317	1 482.4	悪性新生物	19 100	1 328.2	脳血管疾患	15 086	1 049.1
90~94	心 疾 患	19 833	2 857.8	脳血管疾患	13 515	1 947.4	肺 炎	13 373	1 926.9
95~99	心 疾 患	9 702	4 620.0	肺 炎	7 222	3 439.0	老 衰	6 646	3 164.8
100歳以上	老 衰	2 398	7 993.3	心 疾 患	1 908	6 360.0	肺 炎	1 659	5 530.0

注: 1) [1] 乳児(0歳)の死因については乳児死因順位に用いる分類項目を使用している。

[2] 死因名は次のように略称した。

心疾患←心疾患(高血圧性を除く)

先天奇形等←先天奇形, 変形及び染色体異常

呼吸障害等←周産期に特異的な呼吸障害及び心血管障害

出血性障害等←胎児及び新生児の出血性障害及び血液障害

2) 0歳の死亡率は出生10万に対する率である。

3) 総数には年齢不詳を含む。

年齢（5歳階級）別

平成19年

第4位			第5位			年 齢
死 因	死亡数	死亡率	死 因	死亡数	死亡率	
肺 炎	51 548	79.8	老 衰	23 226	36.0	総 数
乳幼児突然死症候群 不慮の事故	49	9.2				0 歳
			肺 炎	31	1.5	1～4
先 天 奇 形 等	16	0.6	心 疾 患	15	0.5	5～9
先 天 奇 形 等	15	0.5	心 疾 患	13	0.4	10～14
心 疾 患	27	0.9	先 天 奇 形 等	13	0.4	15～19
心 疾 患	35	1.0	脳 血 管 疾 患	19	0.6	20～24
心 疾 患	58	1.6	脳 血 管 疾 患	27	0.7	25～29
心 疾 患	128	2.8	脳 血 管 疾 患	84	1.9	30～34
不慮の事故	170	3.7	脳 血 管 疾 患	145	3.2	35～39
心 疾 患	236	5.9	不慮の事故	178	4.5	40～44
心 疾 患	369	9.7	不慮の事故	206	5.4	45～49
心 疾 患	599	15.0	不慮の事故	267	6.7	50～54
自 殺	817	15.6	不慮の事故	525	10.0	55～59
自 殺	795	18.4	不慮の事故	589	13.6	60～64
不慮の事故	874	21.5	肺 炎	871	21.4	65～69
肺 炎	1 863	50.1	不慮の事故	1 376	37.0	70～74
肺 炎	4 217	134.0	不慮の事故	2 013	64.0	75～79
肺 炎	8 527	356.2	不慮の事故	2 617	109.3	80～84
肺 炎	12 778	888.6	老 衰	4 188	291.2	85～89
悪 性 新 生 物	11 598	1 671.2	老 衰	7 906	1 139.2	90～94
脳 血 管 疾 患	6 351	3 024.3	悪 性 新 生 物	3 713	1 768.1	95～99
脳 血 管 疾 患	1 126	3 753.3	悪 性 新 生 物	474	1 580.0	100歳以上

第8表 人口動態総覧，都道府県（18大都市再掲）別

都道府県 <sup>1)</sup>	出生数			死亡数			(再掲)			新生児 死亡数
	総数	男	女	総数	男	女	乳児死亡数			
							総数	男	女	
全 国	1 089 745	559 806	529 939	1 108 280	592 759	515 521	2 828	1 534	1 294	1 433
北海道	41 546	21 067	20 479	51 453	28 141	23 312	111	66	45	57
青森	10 162	5 165	4 997	14 966	8 106	6 860	26	15	11	17
岩手	10 344	5 406	4 938	14 774	7 849	6 925	23	10	13	12
宮城	19 750	10 244	9 506	20 280	10 996	9 284	48	22	26	29
秋田	7 502	3 866	3 636	13 743	7 278	6 465	14	11	3	8
山形	9 139	4 729	4 410	13 242	6 898	6 344	23	12	11	13
福島	17 101	8 795	8 306	21 340	11 333	10 007	44	27	17	19
茨城	24 829	12 733	12 096	26 245	14 271	11 974	80	39	41	45
栃木	17 233	8 824	8 409	18 184	9 675	8 509	50	24	26	22
群馬	16 817	8 579	8 238	18 498	9 910	8 588	41	22	19	24
埼玉県	60 817	31 260	29 557	50 140	27 703	22 437	147	77	70	69
千葉県	51 819	26 575	25 244	45 470	25 195	20 275	134	81	53	70
東京都	103 837	53 564	50 273	96 353	52 202	44 151	278	165	113	146
神奈川県	79 193	40 748	38 445	61 093	34 137	26 956	226	118	108	111
新潟	18 724	9 680	9 044	25 125	13 324	11 801	43	16	27	20
富山	8 728	4 452	4 276	11 194	5 878	5 316	27	17	10	15
石川	10 294	5 192	5 102	10 717	5 542	5 175	36	20	16	13
福山	7 191	3 705	3 486	7 886	4 040	3 846	22	9	13	8
山梨	6 989	3 611	3 378	8 347	4 404	3 943	13	6	7	5
長野	18 618	9 617	9 001	21 911	11 359	10 552	36	19	17	19
岐阜	17 695	9 077	8 618	18 910	10 045	8 865	43	29	14	25
静岡県	33 274	17 036	16 238	32 507	17 399	15 108	81	43	38	48
愛知	70 215	36 179	34 036	53 620	29 306	24 314	192	114	78	100
三重	15 716	8 038	7 678	17 141	8 892	8 249	59	31	28	26
滋賀	13 343	6 855	6 488	10 649	5 625	5 024	48	23	25	28
京都市	21 597	11 101	10 496	22 619	11 681	10 938	51	28	23	23
大阪府	76 913	39 295	37 618	70 281	38 342	31 939	204	102	102	94
兵庫県	48 684	25 182	23 502	47 879	25 478	22 401	106	56	50	54
奈良	11 261	5 717	5 544	11 903	6 235	5 668	23	14	9	11
和歌山	7 689	3 970	3 719	11 255	5 913	5 342	27	13	14	18
鳥取	5 015	2 553	2 462	6 601	3 420	3 181	15	10	5	10
島根	5 914	3 051	2 863	8 660	4 521	4 139	13	8	5	6
岡山	17 099	8 935	8 164	18 325	9 576	8 749	37	23	14	13
広島	25 887	13 263	12 624	26 070	13 623	12 447	48	28	20	18
山口	11 714	5 995	5 719	16 736	8 641	8 095	22	11	11	9
徳島	6 011	3 076	2 935	8 485	4 457	4 028	21	12	9	11
香川	8 701	4 478	4 223	10 428	5 399	5 029	13	9	4	5
愛媛	11 753	6 053	5 700	15 427	8 118	7 309	25	14	11	13
高知	5 717	2 947	2 770	9 071	4 699	4 372	25	14	11	17
福岡	46 393	23 842	22 551	43 919	22 779	21 140	110	51	59	54
佐賀	7 703	3 944	3 759	8 787	4 484	4 303	17	10	7	6
長崎	12 174	6 191	5 983	15 310	7 860	7 450	37	25	12	22
熊本	16 307	8 337	7 970	18 375	9 350	9 025	45	18	27	22
大宮	10 162	5 293	4 869	12 188	6 299	5 889	27	10	17	16
分岐	10 337	5 351	4 986	11 362	5 827	5 535	24	13	11	14
鹿嶋	15 090	7 726	7 364	19 493	9 846	9 647	46	20	26	23
沖繩	16 588	8 434	8 154	9 401	5 050	4 351	42	25	17	20
外 国	160	75	85	177	118	59	2	2	-	2
(再掲)	.	.	.	1 740	1 535	205	3	2	1	3
東京都	69 709	36 065	33 644	67 042	36 511	30 531	188	119	69	101
札幌市	14 498	7 345	7 153	14 043	7 695	6 348	34	19	15	17
仙台市	9 450	4 883	4 567	6 685	3 672	3 013	21	8	13	15
さいたま市	10 837	5 609	5 228	7 608	4 202	3 406	22	8	14	14
千葉市	8 093	4 118	3 975	6 183	3 521	2 662	19	15	4	10
横濱市	32 478	16 718	15 760	24 374	13 721	10 653	91	53	38	47
川崎市	14 051	7 264	6 787	8 362	4 834	3 528	47	20	27	23
新潟市 <sup>2)</sup>	5 001	2 579	2 422	5 226	2 820	2 406	13	6	7	8
静岡市	5 955	2 990	2 965	6 323	3 421	2 902	12	7	5	8
浜松市 <sup>2)</sup>	5 732	2 983	2 749	4 758	2 466	2 292	12	6	6	9
名古屋市	20 195	10 424	9 771	17 730	9 728	8 002	67	43	24	29
名古屋市	11 534	5 929	5 605	12 574	6 411	6 163	33	17	16	15
大阪市	22 891	11 835	11 056	24 367	13 489	10 878	51	27	24	28
堺市	7 780	3 971	3 809	6 475	3 477	2 998	18	10	8	8
神戸市	12 495	6 468	6 027	12 653	6 771	5 882	19	9	10	10
広島市	11 520	5 881	5 639	8 423	4 464	3 959	17	8	9	5
北九州	8 533	4 384	4 149	9 519	4 919	4 600	15	10	5	8
福岡	13 876	7 108	6 768	9 092	4 716	4 376	35	16	19	14

注：1) 都道府県別の表章は出生は子の住所、死亡は死亡者の住所、死産は母の住所、婚姻は夫の住所、離婚は別居する前の住所による。

2) 新潟市及び浜松市は、平成19年4月1日から政令指定都市となったため4月分からの累計である。

自 然 増 加 数	死 産 数			周 産 期 死 亡 数			婚 姻 件 数	離 婚 件 数	都 道 府 県 <sup>1)</sup>	
	総 数	自然死産	人工死産	総 数	妊娠満2週 以後の死産	早期新生児 死亡				
△ 18 535	29 323	13 117	16 206	4 903	3 852	1 051	719 801	254 822	全	国
△ 9 907	1 481	595	886	190	151	39	28 825	12 956	北 海 道	道 森
△ 4 804	311	132	179	55	41	14	6 405	3 014	青 森 県	手 城 田
△ 4 430	332	155	177	53	46	7	6 354	2 308	岩 手 県	宮 城 市
△ 530	579	251	328	103	77	26	12 806	4 649	宮 城 県	秋 田 市
△ 6 241	199	94	105	30	25	5	4 484	1 894	秋 田 県	山 形 市
△ 4 103	294	126	168	44	34	10	5 461	1 988	山 形 県	島 城 市
△ 4 239	490	243	247	77	61	16	10 178	4 159	福 岡 県	茨 木 市
△ 1 416	720	332	388	137	95	42	15 582	5 824	茨 木 県	栃 木 市
△ 951	462	206	256	68	49	19	11 108	4 041	栃 木 県	群 馬 市
△ 1 681	468	228	240	91	70	21	10 370	3 914	群 馬 県	馬 場 市
10 677	1 580	762	818	257	213	44	40 304	14 201	埼 千 島	玉 葉 京 川
6 349	1 308	707	601	258	203	55	35 750	12 353	千 島 県	東 神 奈 川
7 484	2 621	1 202	1 419	458	356	102	89 242	26 628	神 奈 川 県	新 潟 市
△ 18 100	1 848	934	914	359	276	83	56 487	18 265	神 奈 川 県	新 潟 市
△ 6 401	476	230	246	84	72	12	11 192	3 506	神 奈 川 県	山 梨 県
△ 2 466	233	134	99	42	36	6	5 184	1 675	富 山 県	山 梨 県
△ 423	237	131	106	36	25	11	5 990	1 886	富 山 県	山 梨 県
△ 695	178	87	91	30	23	7	4 124	1 334	山 梨 県	山 梨 県
△ 1 358	185	79	106	21	17	4	4 454	1 724	山 梨 県	山 梨 県
△ 3 293	400	203	197	74	59	15	11 141	3 938	山 梨 県	山 梨 県
△ 1 215	429	188	241	86	64	22	10 687	3 560	岐 阜 県	山 梨 県
767	750	327	423	148	112	36	21 150	7 208	岐 阜 県	山 梨 県
16 595	1 575	723	852	313	242	71	46 940	13 772	岐 阜 県	山 梨 県
△ 1 425	363	172	191	70	54	16	9 919	3 377	岐 阜 県	山 梨 県
2 694	298	165	133	70	54	16	7 888	2 495	岐 阜 県	山 梨 県
△ 1 022	520	229	291	87	67	20	13 978	4 962	京 大 兵 奈 和	都 阪 庫 良 山
6 632	2 110	858	1 252	326	263	63	51 994	20 329	京 大 兵 奈 和	都 阪 庫 良 山
805	1 288	573	715	223	185	38	30 433	10 821	京 大 兵 奈 和	都 阪 庫 良 山
△ 642	281	129	152	48	40	8	6 906	2 580	京 大 兵 奈 和	都 阪 庫 良 山
△ 3 566	242	90	152	41	25	16	4 961	2 229	京 大 兵 奈 和	都 阪 庫 良 山
△ 1 586	146	60	86	20	14	6	2 879	1 172	鳥 島 岡 山	取 根 山 島 口
△ 2 746	155	67	88	31	27	4	3 203	1 119	鳥 島 岡 山	取 根 山 島 口
△ 1 226	434	156	278	56	45	11	10 130	3 657	鳥 島 岡 山	取 根 山 島 口
△ 183	602	279	323	87	78	9	16 134	5 514	鳥 島 岡 山	取 根 山 島 口
△ 5 022	319	158	161	44	36	8	7 269	2 683	鳥 島 岡 山	取 根 山 島 口
△ 2 474	146	60	86	24	18	6	3 751	1 530	徳 香 愛 高 福	島 川 媛 知 岡
△ 1 727	212	104	108	37	33	4	5 253	1 987	徳 香 愛 高 福	島 川 媛 知 岡
△ 3 674	384	144	240	62	53	9	7 302	2 898	徳 香 愛 高 福	島 川 媛 知 岡
△ 3 354	220	88	132	40	23	17	3 549	1 663	徳 香 愛 高 福	島 川 媛 知 岡
2 474	1 451	534	917	201	156	45	29 486	11 116	徳 香 愛 高 福	島 川 媛 知 岡
△ 1 084	223	103	120	27	23	4	4 213	1 542	佐 長 熊 大 宮	賀 崎 本 分 崎
△ 3 136	412	171	241	71	55	16	6 972	2 734	佐 長 熊 大 宮	賀 崎 本 分 崎
△ 2 068	525	174	351	61	44	17	9 450	3 570	佐 長 熊 大 宮	賀 崎 本 分 崎
△ 2 026	257	85	172	33	24	9	6 311	2 412	佐 長 熊 大 宮	賀 崎 本 分 崎
△ 1 025	380	131	249	44	36	8	6 250	2 601	佐 長 熊 大 宮	賀 崎 本 分 崎
△ 4 403	554	228	326	76	60	16	8 732	3 336	鹿 沖	児 島 縄
7 187	630	283	347	106	91	15	8 620	3 698	鹿 沖	児 島 縄
△ 17	10	5	5	2	1	1	.	.	外 不	国 詳
.	5	2	3	2	-	2	.	.	外 不	国 詳
2 667	1 811	827	984	320	250	70	65 689	18 925	(再 掲)	都 区 市 市
455	558	199	359	53	40	13	11 357	4 638	東 京 都	区 市 市
2 765	273	121	152	45	32	13	6 679	2 034	札 仙 台 さ い ち	都 区 市 市
3 229	232	118	114	47	35	12	7 113	2 222	札 仙 台 さ い ち	都 区 市 市
1 910	201	116	85	42	32	10	5 466	1 915	札 仙 台 さ い ち	都 区 市 市
8 104	769	389	380	143	110	33	23 199	7 389	札 仙 台 さ い ち	都 区 市 市
5 689	270	127	143	53	35	18	11 075	2 880	札 仙 台 さ い ち	都 区 市 市
△ 225	143	72	71	28	24	4	3 165	934	横 濱 川 崎 新 潟	市 市 市 市
△ 368	152	63	89	26	20	6	3 892	1 346	横 濱 川 崎 新 潟	市 市 市 市
974	120	53	67	28	21	7	3 473	1 074	松 屋 市	市 市 市 市
2 465	501	236	265	97	76	21	14 970	4 744	松 屋 市	市 市 市 市
△ 1 040	290	105	185	48	35	13	8 341	2 919	古 都 市	市 市 市 市
△ 1 476	678	252	426	96	79	17	18 145	7 007	京 大 阪 市	市 市 市 市
1 305	208	85	123	32	28	4	4 834	1 938	大 塚 市	市 市 市 市
△ 158	331	150	181	52	46	6	8 547	3 113	神 戸 市	市 市 市 市
3 097	277	136	141	39	36	3	7 378	2 457	神 戸 市	市 市 市 市
△ 986	303	109	194	31	24	7	5 524	2 199	北 九 州	市 市 市 市
4 784	390	125	265	55	43	12	9 869	3 219	北 九 州	市 市 市 市

第9表 人口動態総覧（率），都道府県（18大都市再掲）別

都道府県	出生率 (人口千対)	死亡率	乳児死亡率 (出生千対)	新生児死亡率	自然増加率 (人口千対)
全 国	8.6	8.8	2.6	1.3	△ 0.1
北 海 道	7.5	9.3	2.7	1.4	△ 1.8
青 森 県	7.2	10.7	2.6	1.7	△ 3.4
岩 手 県	7.6	10.9	2.2	1.2	△ 3.3
宮 城 県	8.5	8.7	2.4	1.5	△ 0.2
秋 田 県	6.7	12.3	1.9	1.1	△ 5.6
山 形 県	7.7	11.1	2.5	1.4	△ 3.4
福 茨 県	8.3	10.4	2.6	1.1	△ 2.1
栃 木 県	8.5	9.0	3.2	1.8	△ 0.5
群 馬 県	8.7	9.2	2.9	1.3	△ 0.5
群 馬 県	8.5	9.3	2.4	1.4	△ 0.8
埼 千 県	8.7	7.2	2.4	1.1	1.5
東 京 都	8.6	7.6	2.6	1.4	1.1
神 奈 川 県	8.3	7.7	2.7	1.4	0.6
新 潟 県	9.0	7.0	2.9	1.4	2.1
新 潟 県	7.8	10.5	2.3	1.1	△ 2.7
富 山 県	8.0	10.2	3.1	1.7	△ 2.3
石 川 県	8.9	9.2	3.5	1.3	△ 0.4
福 山 県	8.9	9.8	3.1	1.1	△ 0.9
山 梨 県	8.1	9.7	1.9	0.7	△ 1.6
山 梨 県	8.7	10.2	1.9	1.0	△ 1.5
岐 静 県	8.6	9.2	2.4	1.4	△ 0.6
愛 知 県	9.0	8.7	2.4	1.4	0.2
愛 知 県	9.8	7.5	2.7	1.4	2.3
三 重 県	8.6	9.4	3.8	1.7	△ 0.8
滋 賀 県	9.7	7.8	3.6	2.1	2.0
京 都 府	8.3	8.7	2.4	1.1	△ 0.4
大 阪 府	8.9	8.1	2.7	1.2	0.8
兵 庫 県	8.8	8.7	2.2	1.1	0.1
奈 良 県	8.0	8.5	2.0	1.0	△ 0.5
和 歌 山 県	7.6	11.1	3.5	2.3	△ 3.5
鳥 取 県	8.4	11.1	3.0	2.0	△ 2.7
島 根 県	8.1	11.9	2.2	1.0	△ 3.8
岡 山 県	8.8	9.5	2.2	0.8	△ 0.6
広 島 県	9.1	9.2	1.9	0.7	△ 0.1
山 口 県	8.0	11.4	1.9	0.8	△ 3.4
徳 島 県	7.6	10.7	3.5	1.8	△ 3.1
香 川 県	8.7	10.4	1.5	0.6	△ 1.7
愛 媛 県	8.1	10.7	2.1	1.1	△ 2.5
高 知 県	7.3	11.6	4.4	3.0	△ 4.3
福 岡 県	9.2	8.8	2.4	1.2	0.5
佐 賀 県	9.0	10.3	2.2	0.8	△ 1.3
長 崎 県	8.4	10.6	3.0	1.8	△ 2.2
熊 本 県	9.0	10.1	2.8	1.3	△ 1.1
大 宮 市	8.5	10.2	2.7	1.6	△ 1.7
大 宮 市	9.1	10.0	2.3	1.4	△ 0.9
鹿 児 島 県	8.7	11.3	3.0	1.5	△ 2.6
沖 縄 県	12.1	6.9	2.5	1.2	5.3
(再掲)					
東 京 都 区	8.1	7.7	2.7	1.4	0.3
札 幌 市	7.7	7.4	2.3	1.2	0.2
仙 台 市	9.2	6.5	2.2	1.6	2.7
さい たま 市	9.1	6.4	2.0	1.3	2.7
千 葉 市	8.6	6.6	2.3	1.2	2.0
横 濱 市	9.0	6.7	2.8	1.4	2.2
川 崎 市	10.3	6.1	3.3	1.6	4.2
新 潟 市 <sup>3)</sup>	...	...	...	...	...
静 岡 市	8.4	8.9	2.0	1.3	△ 0.5
浜 松 市 <sup>3)</sup>	...	...	...	...	...
名古屋 市	9.0	7.9	3.3	1.4	1.1
京 都 市	7.9	8.6	2.9	1.3	△ 0.7
大 阪 市	8.7	9.2	2.2	1.2	△ 0.6
大 塚 市	9.3	7.8	2.3	1.0	1.6
神 戸 市	8.1	8.2	1.5	0.8	△ 0.1
広 島 市	9.9	7.2	1.5	0.4	2.7
北 九 州 市	8.6	9.6	1.8	0.9	△ 1.0
福 岡 市	9.7	6.4	2.5	1.0	3.4

注：1) 死亡率は死産数を出産数（死産数に出生数を加えたもの）で除している。  
 2) 周産期死亡数を出産数（妊娠満22週以後の死産数に出生数を加えたもの）で除している。  
 3) 新潟市及び浜松市は、平成19年4月1日から政令指定都市になったため率は算出してない。

死産率 <sup>1)</sup>	自然死産率 ( 出 産 千 対 )	人工死産率	周産期死亡率 <sup>2)</sup> ( 出 産 千 対 )	婚 姻 率 ( 人 口 千 対 )	離 婚 率 ( 人 口 千 対 )	都 道 府 県
26.2	11.7	14.5	4.5	5.7	2.02	全 国
34.4	13.8	20.6	4.6	5.2	2.33	北 海 道
29.7	12.6	17.1	5.4	4.6	2.15	青 森 県
31.1	14.5	16.6	5.1	4.7	1.70	岩 手 県
28.5	12.3	16.1	5.2	5.5	1.99	宮 城 県
25.8	12.2	13.6	4.0	4.0	1.70	秋 田 県
31.2	13.4	17.8	4.8	4.6	1.67	山 形 県
27.9	13.8	14.0	4.5	4.9	2.02	福 島 県
28.2	13.0	15.2	5.5	5.3	1.99	茨 城 県
26.1	11.6	14.5	3.9	5.6	2.04	栃 木 県
27.1	13.2	13.9	5.4	5.2	1.98	群 馬 県
25.3	12.2	13.1	4.2	5.8	2.03	埼 千 県
24.6	13.3	11.3	5.0	5.9	2.05	東 京 都
24.6	11.3	13.3	4.4	7.1	2.13	神 奈 川 県
22.8	11.5	11.3	4.5	6.5	2.09	新 潟 県
24.8	12.0	12.8	4.5	4.7	1.46	富 山 県
26.0	15.0	11.0	4.8	4.7	1.53	石 川 県
22.5	12.4	10.1	3.5	5.2	1.62	福 山 県
24.2	11.8	12.3	4.2	5.1	1.66	山 梨 県
25.8	11.0	14.8	3.0	5.2	2.00	長 野 県
21.0	10.7	10.4	4.0	5.2	1.84	岐 阜 県
23.7	10.4	13.3	4.8	5.2	1.73	静 岡 県
22.0	9.6	12.4	4.4	5.7	1.94	愛 知 県
21.9	10.1	11.9	4.4	6.5	1.92	三 重 県
22.6	10.7	11.9	4.4	5.4	1.84	滋 賀 県
21.8	12.1	9.8	5.2	5.8	1.82	京 都 府
23.5	10.4	13.2	4.0	5.4	1.92	大 阪 府
26.7	10.9	15.8	4.2	6.0	2.35	兵 庫 県
25.8	11.5	14.3	4.6	5.5	1.97	和 歌 山 県
24.3	11.2	13.2	4.2	4.9	1.84	奈 良 県
30.5	11.3	19.2	5.3	4.9	2.20	和 歌 山 県
28.3	11.6	16.7	4.0	4.8	1.97	鳥 取 県
25.5	11.0	14.5	5.2	4.4	1.54	島 根 県
24.8	8.9	15.9	3.3	5.2	1.89	岡 山 県
22.7	10.5	12.2	3.4	5.7	1.94	広 島 県
26.5	13.1	13.4	3.7	5.0	1.84	山 口 県
23.7	9.7	14.0	4.0	4.7	1.92	徳 島 県
23.8	11.7	12.1	4.2	5.3	1.99	香 川 県
31.6	11.9	19.8	5.3	5.1	2.01	愛 媛 県
37.1	14.8	22.2	7.0	4.6	2.13	高 松 県
30.3	11.2	19.2	4.3	5.9	2.22	福 岡 県
28.1	13.0	15.1	3.5	4.9	1.80	佐 賀 県
32.7	13.6	19.1	5.8	4.8	1.89	長 崎 県
31.2	10.3	20.9	3.7	5.2	1.96	熊 本 県
24.7	8.2	16.5	3.2	5.3	2.02	大 分 県
35.5	12.2	23.2	4.2	5.5	2.28	宮 崎 県
35.4	14.6	20.8	5.0	5.1	1.93	鹿 児 島 県
36.6	16.4	20.2	6.4	6.3	2.71	沖 縄 県
25.3	11.6	13.8	4.6	7.6	2.19	( 再 掲 ) 東 京 都 区 部 市 市
37.1	13.2	23.8	3.6	6.0	2.45	札 幌 市 市
28.1	12.4	15.6	4.7	6.5	1.98	仙台 市 市
21.0	10.7	10.3	4.3	6.0	1.87	さい たま 市 市
24.2	14.0	10.2	5.2	5.8	2.04	千葉 市 市
23.1	11.7	11.4	4.4	6.4	2.04	横 濱 市 市
18.9	8.9	10.0	3.8	8.1	2.10	川 崎 市 市
...	...	...	...	...	...	新 潟 市 市 <sup>3)</sup>
24.9	10.3	14.6	4.4	5.5	1.89	静 岡 市 市
...	...	...	...	...	...	松 山 市 市 <sup>3)</sup>
24.2	11.4	12.8	4.8	6.7	2.12	名 古 屋 市 市
24.5	8.9	15.6	4.1	5.7	1.99	京 都 府 市 市
28.8	10.7	18.1	4.2	6.9	2.65	大 阪 府 市 市
26.0	10.6	15.4	4.1	5.8	2.32	堺 市 市
25.8	11.7	14.1	4.1	5.5	2.01	神 戸 市 市
23.5	11.5	12.0	3.4	6.3	2.11	広 島 市 市
34.3	12.3	22.0	3.6	5.6	2.23	北 九 州 市 市
27.3	8.8	18.6	4.0	6.9	2.26	福 岡 県 市 市

第10表 主な死因の死亡数・死亡率（人口10万対），都道府県

都道府県	全死因		02100 悪性新生物		09200 心疾患		09300 脳血管疾患		10200 肺炎	
	死亡数	死亡率	死亡数	死亡率	死亡数	死亡率	死亡数	死亡率	死亡数	死亡率
全国 <sup>1)</sup>	1 108 280	879.0	336 290	266.7	175 396	139.1	126 940	100.7	110 080	87.3
北海道	51 453	926.6	16 477	296.7	8 446	152.1	5 534	99.7	4 846	87.3
青森	14 966	1 066.7	4 595	327.5	2 348	167.4	1 882	134.1	1 502	107.1
岩手	14 774	1 087.1	4 043	297.5	2 504	184.3	2 200	161.9	1 463	108.0
宮城	20 280	868.2	6 110	261.6	3 092	132.4	2 758	118.1	1 901	81.5
秋田	13 743	1 230.3	3 933	352.1	2 031	181.8	1 961	175.6	1 444	129.3
山形	13 242	1 110.9	3 843	322.4	2 094	175.7	1 859	156.0	1 398	117.3
福島	21 340	1 037.4	5 934	288.5	3 761	182.8	2 799	136.1	2 053	99.8
茨城	26 245	896.0	7 678	262.1	4 209	143.7	3 459	118.1	2 514	85.8
栃木	18 184	916.1	5 293	266.6	3 022	152.2	2 483	125.1	1 796	90.5
群馬	18 498	934.2	5 329	269.1	2 876	145.3	2 298	116.1	2 047	103.4
埼玉県	50 140	716.0	15 996	228.4	8 516	121.6	5 722	81.7	4 960	70.8
千葉県	45 470	755.4	13 974	232.2	7 935	131.8	5 011	83.3	4 371	72.6
東京都	96 353	771.6	30 518	244.4	15 377	123.1	10 678	85.5	9 160	73.4
神奈川県	61 093	697.9	20 228	231.1	9 090	103.8	6 662	76.1	5 535	63.2
新潟	25 125	1 049.5	7 651	319.6	3 827	159.9	3 512	146.7	2 221	92.8
富山	11 194	1 024.2	3 291	301.1	1 506	137.8	1 448	132.5	1 287	117.7
石川	10 717	923.1	3 223	277.6	1 759	151.5	1 287	110.9	1 070	92.2
福井	7 886	980.8	2 275	283.0	1 297	161.3	878	109.2	865	107.6
山梨	8 347	967.2	2 360	273.5	1 313	152.1	1 011	117.1	753	87.3
長野	21 911	1 021.5	6 041	281.6	3 358	156.6	3 220	150.1	1 915	89.3
岐阜	18 910	918.4	5 475	265.9	3 190	154.9	2 085	101.3	1 906	92.6
静岡県	32 507	874.5	9 386	252.5	4 984	134.1	4 085	109.9	2 842	76.5
愛知	53 620	747.5	16 566	230.9	8 090	112.8	5 856	81.6	5 219	72.8
三重	17 141	936.2	4 780	261.1	2 730	149.1	1 896	103.5	1 684	92.0
滋賀	10 649	777.9	3 220	235.2	1 678	122.6	1 219	89.0	1 014	74.1
京都	22 619	873.0	6 865	265.0	3 763	145.2	2 422	93.5	2 266	87.5
大阪府	70 281	813.3	23 458	271.5	10 965	126.9	6 383	73.9	7 187	83.2
兵庫県	47 879	869.7	15 151	275.2	7 526	136.7	4 634	84.2	4 625	84.0
奈良	11 903	849.6	3 853	275.0	2 153	153.7	1 208	86.2	1 168	83.4
和歌山	11 255	1 108.9	3 381	333.1	1 876	184.8	1 106	109.0	1 136	111.9
鳥取	6 601	1 107.6	1 963	329.4	1 045	175.3	778	130.5	650	109.1
島根	8 660	1 192.8	2 513	346.1	1 342	184.8	984	135.5	845	116.4
岡山	18 325	947.0	5 127	265.0	2 964	153.2	2 105	108.8	2 056	106.3
広島	26 070	917.3	7 699	270.9	4 204	147.9	2 839	99.9	2 700	95.0
山口	16 736	1 144.7	4 837	330.8	2 772	189.6	1 942	132.8	1 869	127.8
徳島	8 485	1 066.0	2 291	287.8	1 319	165.7	974	122.4	933	117.2
香川県	10 428	1 043.8	2 992	299.5	1 710	171.2	1 074	107.5	1 234	123.5
愛媛	15 427	1 067.6	4 255	294.5	2 897	200.5	1 686	116.7	1 554	107.5
高知	9 071	1 164.4	2 367	303.9	1 534	196.9	1 234	158.4	968	124.3
福岡	43 919	875.6	14 126	281.6	5 520	110.0	4 550	90.7	4 795	95.6
佐賀	8 787	1 026.5	2 688	314.0	1 316	153.7	996	116.4	1 006	117.5
長崎	15 310	1 058.1	4 611	318.7	2 382	164.6	1 711	118.2	1 762	121.8
熊本	18 375	1 009.6	5 131	281.9	2 914	160.1	2 123	116.6	1 964	107.9
大宮	12 188	1 019.1	3 531	295.2	1 833	153.3	1 415	118.3	1 244	104.0
鹿嶋	11 362	997.5	3 142	275.9	1 793	157.4	1 372	120.5	1 102	96.8
鹿嶋	19 493	1 129.4	5 201	301.3	2 999	173.8	2 548	147.6	2 281	132.2
沖縄	9 401	688.2	2 613	191.3	1 313	96.1	886	64.9	839	61.4
外	177	.	35	.	21	.	7	.	9	.
(再掲)										
東京都	67 042	774.8	21 255	245.6	10 737	124.1	7 306	84.4	6 204	71.7
札幌市	14 043	741.4	4 691	247.7	2 262	119.4	1 492	78.8	1 171	61.8
仙台市	6 685	649.7	2 215	215.3	918	89.2	792	77.0	564	54.8
さいたま市	7 608	639.3	2 476	208.1	1 287	108.2	887	74.5	704	59.2
千葉市	6 183	659.9	2 001	213.6	1 000	106.7	635	67.8	629	67.1
横浜市	24 374	672.0	8 310	229.1	3 572	98.5	2 566	70.7	2 258	62.3
川崎市	8 362	610.8	2 744	200.4	1 295	94.6	893	65.2	702	51.3
新潟市 <sup>2)</sup>	5 226	...	1 779	...	798	...	655	...	464	...
静岡市 <sup>2)</sup>	6 323	889.3	1 907	268.2	968	136.1	739	103.9	590	83.0
浜松市 <sup>2)</sup>	4 758	...	1 345	...	659	...	616	...	417	...
名古屋市	17 730	792.6	5 628	251.6	2 643	118.1	1 866	83.4	1 621	72.5
京都市	12 574	856.0	3 859	262.7	2 104	143.2	1 334	90.8	1 248	85.0
大阪市	24 367	921.6	7 938	300.2	3 464	131.0	2 269	85.8	2 500	94.6
堺市	6 475	775.4	2 200	263.5	1 052	126.0	610	73.1	666	79.8
神戸市	12 653	817.4	4 149	268.0	1 828	118.1	1 144	73.9	1 134	73.3
広島市	8 423	724.9	2 565	220.7	1 389	119.5	880	75.7	830	71.4
北九州	9 519	964.4	3 156	319.8	1 303	132.0	979	99.2	932	94.4
福岡	9 092	637.1	3 030	212.3	1 111	77.9	815	57.1	984	69.0

注：1) 全国値には、住所不詳を含む。

2) 新潟市及び浜松市は平成19年4月1日から政令指定都市となったため、4月分からの累計である。なお、死亡率は算出してない。

(18大都市再掲) 別

平成19年

20100 不慮の事故		20200 自殺		18100 老衰		14200 腎不全		11300 肝疾患		10400 慢性閉塞性肺疾		都 道 府 県
死亡数	死亡率	死亡数	死亡率	死亡数	死亡率	死亡数	死亡率	死亡数	死亡率	死亡数	死亡率	
37 874	30.0	30 777	24.4	30 712	24.4	21 606	17.1	16 164	12.8	14 890	11.8	全 国 <sup>1)</sup>
1 567	28.2	1 461	26.3	879	15.8	1 310	23.6	632	11.4	643	11.6	北 海 道
492	35.1	467	33.3	429	30.6	354	25.2	202	14.4	130	9.3	青 森 県
559	41.1	438	32.2	456	33.6	281	20.7	138	10.2	200	14.7	岩 手 県
726	31.1	607	26.0	627	26.8	370	15.8	245	10.5	228	9.8	宮 城 県
543	48.6	419	37.5	359	32.1	307	27.5	137	12.3	129	11.5	秋 田 県
475	39.8	332	27.9	456	38.3	236	19.8	143	12.0	193	16.2	山 形 県
708	34.4	589	28.6	796	38.7	391	19.0	224	10.9	322	15.7	福 島 県
941	32.1	767	26.2	846	28.9	457	15.6	346	11.8	342	11.7	茨 城 県
594	29.9	528	26.6	579	29.2	320	16.1	262	13.2	239	12.0	栃 木 県
641	32.4	527	26.6	479	24.2	315	15.9	276	13.9	287	14.5	群 馬 県
1 454	20.8	1 583	22.6	1 140	16.3	870	12.4	783	11.2	557	8.0	埼 玉 県
1 457	24.2	1 294	21.5	1 406	23.4	802	13.3	628	10.4	523	8.7	千 葉 県
2 523	20.2	2 817	22.6	2 239	17.9	1 695	13.6	1 771	14.2	1 301	10.4	東 京 都
2 084	23.8	1 819	20.8	1 626	18.6	957	10.9	1 254	14.3	809	9.2	神 奈 川 県
1 039	43.4	767	32.0	823	34.4	409	17.1	259	10.8	324	13.5	新 潟 県
454	41.5	275	25.2	276	25.3	241	22.0	128	11.7	118	10.8	富 山 県
402	34.6	257	22.1	290	25.0	178	15.3	132	11.4	150	12.9	石 川 県
359	44.7	176	21.9	222	27.6	163	20.3	84	10.4	95	11.8	福 井 県
283	32.8	225	26.1	313	36.3	170	19.7	128	14.8	126	14.6	山 梨 県
824	38.4	492	22.9	1 055	49.2	368	17.2	253	11.8	300	14.0	長 野 県
766	37.2	445	21.6	753	36.6	386	18.7	224	10.9	244	11.9	岐 阜 県
1 165	31.3	803	21.6	1 398	37.6	685	18.4	375	10.1	462	12.4	静 岡 県
1 984	27.7	1 414	19.7	1 624	22.6	952	13.3	738	10.3	589	8.2	愛 知 県
702	38.3	365	19.9	847	46.3	391	21.4	212	11.6	253	13.8	重 慶 県
395	28.9	292	21.3	312	22.8	218	15.9	134	9.8	174	12.7	滋 賀 県
569	22.0	592	22.8	561	21.7	477	18.4	263	10.2	360	13.9	京 都 府
2 112	24.4	2 196	25.4	1 097	12.7	1 384	16.0	1 392	16.1	938	10.9	阪 神 府
1 735	31.5	1 321	24.0	1 262	22.9	996	18.1	814	14.8	661	12.0	大 阪 府
400	28.6	252	18.0	313	22.3	214	15.3	163	11.6	181	12.9	兵 庫 県
420	41.4	258	25.4	430	42.4	223	22.0	156	15.4	175	17.2	和 歌 山 県
254	42.6	158	26.5	213	35.7	118	19.8	57	9.6	76	12.8	鳥 取 県
280	38.6	233	32.1	312	43.0	184	25.3	107	14.7	141	19.4	島 根 県
744	38.4	421	21.8	579	29.9	406	21.0	259	13.4	260	13.4	岡 山 県
937	33.0	683	24.0	694	24.4	613	21.6	411	14.5	363	12.8	広 島 県
519	35.5	393	26.9	509	34.8	325	22.2	246	16.8	228	15.6	山 口 県
317	39.8	164	20.6	273	34.3	190	23.9	136	17.1	150	18.8	徳 島 県
406	40.6	228	22.8	279	27.9	243	24.3	146	14.6	152	15.2	香 川 県
566	39.2	392	27.1	522	36.1	335	23.2	213	14.7	186	12.9	愛 媛 県
401	51.5	245	31.5	192	24.6	246	31.6	121	15.5	116	14.9	高 知 県
1 638	32.7	1 240	24.7	917	18.3	835	16.6	571	11.4	636	12.7	福 岡 県
328	38.3	217	25.4	187	21.8	157	18.3	104	12.1	136	15.9	佐 賀 県
476	32.9	364	25.2	295	20.4	292	20.2	172	11.9	223	15.4	長 崎 県
594	32.6	472	25.9	533	29.3	421	23.1	242	13.3	286	15.7	熊 本 県
438	36.6	302	25.3	339	28.3	247	20.7	148	12.4	185	15.5	大 分 県
464	40.7	394	34.6	288	25.3	270	23.7	143	12.6	165	14.5	宮 崎 県
708	41.0	504	29.2	445	25.8	442	25.6	300	17.4	292	16.9	鹿 児 島 県
316	23.1	317	23.2	237	17.3	144	10.5	247	18.1	232	17.0	沖 縄 県
11	.	5	.	3	.	1	.	4	.	-	.	外 国
1 826	21.1	2 010	23.2	1 458	16.8	1 167	13.5	1 316	15.2	931	10.8	(再掲) 東 京 都 区
373	19.7	419	22.1	151	8.0	325	17.2	156	8.2	164	8.7	札 幌 市
228	22.2	246	23.9	190	18.5	106	10.3	72	7.0	64	6.2	仙 台 市
202	17.0	232	19.5	159	13.4	126	10.6	113	9.5	73	6.1	さい たま 市
174	18.6	169	18.0	134	14.3	97	10.4	94	10.0	60	6.4	千 葉 市
829	22.9	690	19.0	625	17.2	414	11.4	489	13.5	297	8.2	横 浜 市
300	21.9	267	19.5	172	12.6	89	6.5	226	16.5	124	9.1	川 崎 市
175	...	149	...	130	...	89	...	57	...	62	...	新 潟 市 <sup>2)</sup>
229	32.2	144	20.3	224	31.5	116	16.3	70	9.8	84	11.8	静 岡 市
161	...	106	...	227	...	123	...	45	...	73	...	...
623	27.8	412	18.4	426	19.0	360	16.1	262	11.7	214	9.6	名 古 屋 市
307	20.9	305	20.8	282	19.2	276	18.8	143	9.7	199	13.5	京 都 市
737	27.9	774	29.3	358	13.5	515	19.5	587	22.2	323	12.2	大 阪 市
198	23.7	216	25.9	90	10.8	112	13.4	113	13.5	79	9.5	堺 市
477	30.8	360	23.3	303	19.6	218	14.1	263	17.0	178	11.5	神 戸 市
281	24.2	262	22.5	166	14.3	191	16.4	141	12.1	99	8.5	広 島 市
329	33.3	202	20.5	192	19.5	208	21.1	124	12.6	127	12.9	北 九 州 市
338	23.7	323	22.6	125	8.8	146	10.2	129	9.0	125	8.8	福 岡 市



## 合計特殊出生率について

### 1. 期間合計特殊出生率とコーホート合計特殊出生率

- 合計特殊出生率は「15～49歳までの女性の年齢別出生率を合計したもの」であり、次の2つの種類がある。

#### A 「期間」合計特殊出生率

ある期間（1年間）の出生状況に着目したもので、その時点における各年齢（15～49歳）の女性の出生率を合計したもの。

どの年齢の女性の人数も同じとして算定される出生率なので、女性人口の年齢構成の違いを除いた「その年の出生率」であり、年次比較、国際比較、地域比較に用いられている。

#### B 「コーホート」合計特殊出生率

ある世代の出生状況に着目したもので、同一年生まれ（コーホート）の女性の各年齢（15～49歳）の出生率を過去から積み上げたもの。

「その世代の出生率」である。

- 実際に「一人の女性が一生の間に生む子どもの数」はBのコーホート合計特殊出生率であるが、それに相当するものとして一般に用いられているのはAの期間合計特殊出生率である。

これは、各年齢の出生率が世代（コーホート）によらず同じであれば、この二つの「合計特殊出生率」は同じ値になるからである。

- 晩婚化・晩産化が進行している状況では、各世代の結婚や出産の行動に違いがあり、各年齢の出生率が世代により異なるため、別々の世代の年齢別出生率の合計であるAの期間合計特殊出生率は、同一世代のBのコーホート合計特殊出生率の値と異なる。

### 2. コーホート合計特殊出生率（ごく粗い計算）

コーホート合計特殊出生率は同一世代の女性の出生率を過去から積み上げるため、その世代が50歳になるまで得られないが、現段階で得られる到達年齢までのコーホート合計特殊出生率を、5歳階級ごとに1つの世代とみてごく粗く計算した。

例えば1968～1972年生まれ（平成19年における35～39歳の世代）についての39歳までのコーホート合計特殊出生率は約1.43であり、実際にこの世代の「一人の女性が一生の間に生む子どもの数」は、少なくともこの水準を上回ると見込まれる。

平成19年の期間合計特殊出生率は、現在、晩産化の進行中であり、出産を終えた世代の高年齢時における低い出生率と、晩婚化・晩産化により出産を先送りしている世代の若年齢時の低い出生率の合計であって、「実際に1人の女性が一生の間に生む子どもの数」より低く現れている。

① 期間合計特殊出生率の年次推移(年齢階級別内訳)

	昭和52年 (1977)	57年 (1982)	62年 (1987)	平成4年 (1992)	9年 (1997)	14年 (2002)	平成19年 (2007)
母の年齢	1.80	1.77	1.69	1.50	1.39	1.32	1.34
15～19歳	0.0169	0.0207	0.0194	0.0187	0.0206	0.0298	0.0246
20～24	0.4477	0.3580	0.2798	0.2240	0.1933	0.1979	0.1831
25～29	0.9255	0.9230	0.8289	0.6585	0.5448	0.4648	0.4341
30～34	0.3336	0.3886	0.4597	0.4704	0.4700	0.4410	0.4613
35～39	0.0674	0.0709	0.0933	0.1174	0.1424	0.1633	0.2025
40～44	0.0093	0.0085	0.0093	0.0125	0.0165	0.0213	0.0305
45～49	0.0004	0.0003	0.0002	0.0003	0.0004	0.0005	0.0008

② 各世代別(コホート)にみた母の年齢階級別出生率(ごく粗い計算)

	1958-1962 45～49歳の世代	1963-1967 40～44歳の世代	1968-1972 35～39歳の世代	1973-1977 30～34歳の世代	1978-1982 25～29歳の世代	1983-1987 20～24歳の世代	1988-1992 15～19歳の世代
15～19歳	0.0169	0.0207	0.0194	0.0187	0.0206	0.0298	0.0246
20～24	0.3580	0.2798	0.2240	0.1933	0.1979	0.1831	
25～29	0.8289	0.6585	0.5448	0.4648	0.4341		
30～34	0.4704	0.4700	0.4410	0.4613			
35～39	0.1424	0.1633	0.2025				
40～44	0.0213	0.0305					
45～49	0.0008						
コホート 合計特殊出生率	1.84	1.62	1.43	1.14	0.65	0.21	0.02

③ コホート合計特殊出生率(母の到達年齢別)(ごく粗い計算)

	1958-1962 45～49歳の世代	1963-1967 40～44歳の世代	1968-1972 35～39歳の世代	1973-1977 30～34歳の世代	1978-1982 25～29歳の世代	1983-1987 20～24歳の世代	1988-1992 15～19歳の世代
15～19歳	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.03	0.02
15～24	0.37	0.30	0.24	0.21	0.22	0.21	
15～29	1.20	0.96	0.79	0.68	0.65		
15～34	1.67	1.43	1.23	1.14			
15～39	1.82	1.59	1.43				
15～44	1.84	1.62					
15～49	1.84						

\*「15～19歳の世代」は、昭和63～平成4年生まれ、「20～24歳の世代」は、昭和58～62年生まれ、  
「25～29歳の世代」は、昭和53～57年生まれ、「30～34歳の世代」は、昭和48～52年生まれ、  
「35～39歳の世代」は、昭和43～47年生まれ、「40～44歳の世代」は、昭和38～42年生まれ、  
「45～49歳の世代」は、昭和33～37年生まれ。

### 3. 出生数の動向と(期間)合計特殊出生率の動向の関係

- 出生数は次の3つの要素に分解できるので、その動向は、「(期間)合計特殊出生率」の動向だけでなく、「女性人口(15～49歳)」と「(15～49歳女性人口の)年齢構成の違い」の動向にもよる。各要素の動向は次頁のとおりである。

$$\text{出生数} = \underbrace{\text{女性人口 (15～49歳)} \times \frac{\text{(期間)合計特殊出生率}}{35^*}}_{\text{(15～49歳のどの年齢の女性の人数も同じとした場合に見込まれる出生数)}} \times \text{(15～49歳女性人口の年齢構成の違い)}$$

↑  
(出生数÷見込まれる出生数)

\* (期間)合計特殊出生率は15～49歳までの35個の年齢別出生率を加えたものであるため、女性人口(15～49歳)を乗じて出生数となるよう35で除している。

平成18年	109.3万人	=	2,716万人	×	$\frac{1.32}{35}$	×	1.069
	↓△0.3%		↓△0.7%		↓1.5%		↓△1.1%
平成19年	109万人	=	2,698万人	×	$\frac{1.34}{35}$	×	1.057

※合計特殊出生率が変わらなかった場合、出生数は△1.8%であったと見込まれる。

(説明)

- (1) その年の女性の年齢別出生率の合計である「(期間)合計特殊出生率」は、「その年の女性人口(15～49歳)について、仮にどの年齢の女性の人数も同じとした場合のその年の出生率」である。

このため、「女性人口(15～49歳)」に「(期間)合計特殊出生率/35」を乗じたものは、「15～49歳のどの年齢の女性の人数も同じとした場合に見込まれる出生数」となる。

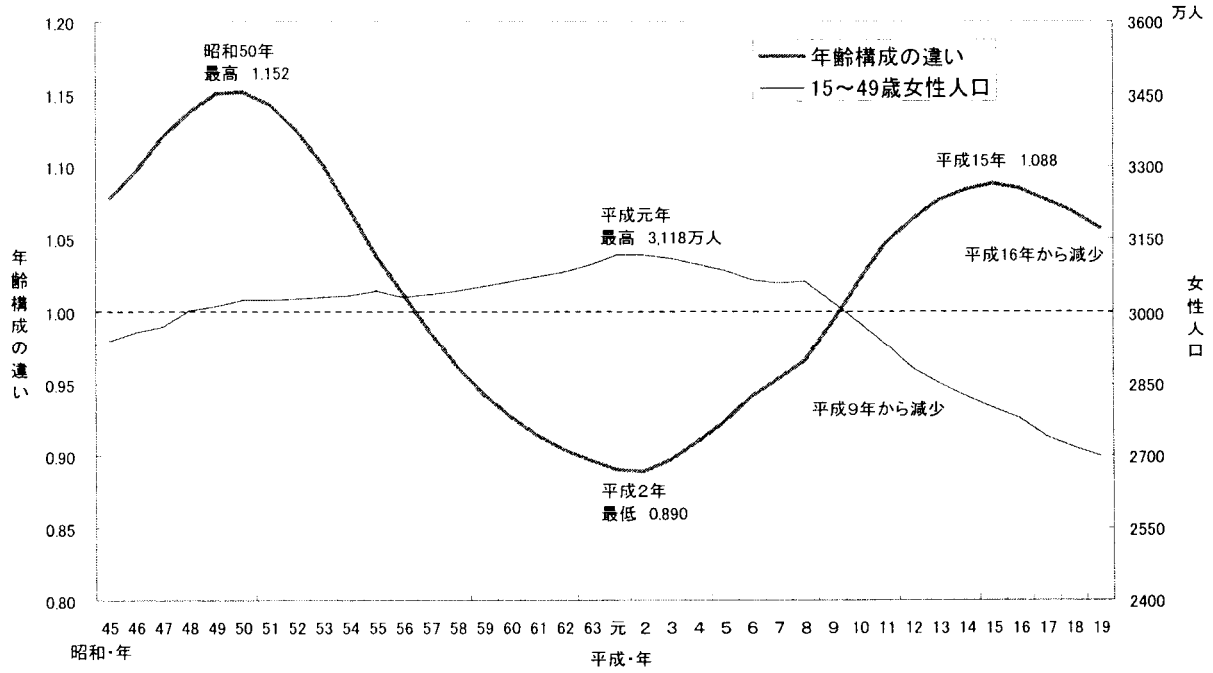
- (2) 「(15～49歳女性人口の)年齢構成の違い」とは、「その年の女性の人数が年齢により異なっている状況(年齢構成)が、どの年齢の女性の人数も同じという状況(年齢構成)とどのくらい違うかを表すもの」である。

どの年齢の女性の人数も同じ場合には1となり、概ね、出生率の高い年齢の女性の人数が他の年齢より多い場合には1より大きく、少ない場合には1より小さくなる。

- (3) 「女性人口(15～49歳)」と「年齢構成の違い」が変わらない場合には、出生数は「(期間)合計特殊出生率」が高ければ多く、低ければ少なくなる。

また、「女性人口(15～49歳)」と「(期間)合計特殊出生率」が変わらない場合には、出生数は、「年齢構成の違い」が1より大きければ見込まれる出生数より多く、1より小さければ見込まれる出生数より少ない。

「女性人口(15～49歳)」と「年齢構成の違い」の動向



年次	実 数				対前年増減率 (%)			
	出生数 ①×②/35×③	15～49歳 女性人口 (千人) ①	合計特殊 出生率 ②	年齢構成 の違い ③	出生数	15～49歳 女性人口 (千人) ①	合計特殊 出生率 ②	年齢構成 の違い ③
昭和 45 年	1 934 239	29 400	2.13	1.079	...	...	...	...
46	2 000 973	29 589	2.16	1.097	3.5	0.6	1.1	1.7
47	2 038 682	29 700	2.14	1.122	1.9	0.4	△ 0.7	2.2
48	2 091 983	30 035	2.14	1.139	2.6	1.1	△ 0.1	1.6
49	2 029 989	30 128	2.05	1.151	△ 3.0	0.3	△ 4.3	1.1
50	1 901 440	30 251	1.91	1.152	△ 6.3	0.4	△ 6.8	0.1
51	1 832 617	30 271	1.85	1.144	△ 3.6	0.1	△ 3.0	△ 0.7
52	1 755 100	30 289	1.80	1.126	△ 4.2	0.1	△ 2.8	△ 1.6
53	1 708 643	30 319	1.79	1.101	△ 2.6	0.1	△ 0.5	△ 2.2
54	1 642 580	30 351	1.77	1.071	△ 3.9	0.1	△ 1.2	△ 2.8
55	1 576 889	30 438	1.75	1.038	△ 4.0	0.3	△ 1.3	△ 3.0
56	1 529 455	30 333	1.74	1.013	△ 3.0	△ 0.3	△ 0.3	△ 2.4
57	1 515 392	30 404	1.77	0.986	△ 0.9	0.2	1.6	△ 2.7
58	1 508 687	30 463	1.80	0.963	△ 0.4	0.2	1.7	△ 2.3
59	1 489 780	30 549	1.81	0.942	△ 1.3	0.3	0.6	△ 2.1
60	1 431 577	30 644	1.76	0.927	△ 3.9	0.3	△ 2.6	△ 1.6
61	1 382 946	30 726	1.72	0.914	△ 3.4	0.3	△ 2.3	△ 1.4
62	1 346 658	30 834	1.69	0.904	△ 2.6	0.4	△ 1.9	△ 1.1
63	1 314 006	30 983	1.66	0.896	△ 2.4	0.5	△ 2.0	△ 0.9
平成 元	1 246 802	31 177	1.57	0.890	△ 5.1	0.6	△ 5.1	△ 0.6
2	1 221 585	31 154	1.54	0.890	△ 2.0	△ 0.1	△ 1.9	△ 0.1
3	1 223 245	31 094	1.53	0.897	0.1	△ 0.2	△ 0.5	0.9
4	1 208 989	30 974	1.50	0.910	△ 1.2	△ 0.4	△ 2.1	1.4
5	1 188 282	30 865	1.46	0.924	△ 1.7	△ 0.4	△ 2.9	1.6
6	1 238 328	30 681	1.50	0.942	4.2	△ 0.6	2.9	1.9
7	1 187 064	30 614	1.42	0.954	△ 4.1	△ 0.2	△ 5.2	1.3
8	1 206 555	30 651	1.43	0.967	1.6	0.1	0.2	1.3
9	1 191 665	30 249	1.39	0.993	△ 1.2	△ 1.3	△ 2.6	2.8
10	1 203 147	29 809	1.38	1.021	1.0	△ 1.5	△ 0.3	2.8
11	1 177 669	29 330	1.34	1.047	△ 2.1	△ 1.6	△ 3.0	2.6
12	1 190 547	28 821	1.36	1.064	1.1	△ 1.7	1.3	1.6
13	1 170 662	28 513	1.33	1.077	△ 1.7	△ 1.1	△ 1.9	1.3
14	1 153 855	28 240	1.32	1.085	△ 1.4	△ 1.0	△ 1.1	0.7
15	1 123 610	27 998	1.29	1.088	△ 2.6	△ 0.9	△ 2.1	0.4
16	1 110 721	27 773	1.29	1.086	△ 1.1	△ 0.8	△ 0.1	△ 0.2
17	1 062 530	27 385	1.26	1.078	△ 4.3	△ 1.4	△ 2.2	△ 0.8
18	1 092 674	27 165	1.32	1.069	2.8	△ 0.8	4.5	△ 0.8
19	1 089 745	26 982	1.34	1.057	△ 0.3	△ 0.7	1.5	△ 1.1

注：1) 「合計特殊出生率」の転換年は昭和49年  
 2) 「年齢構成の違い」の転換年は昭和51年、平成3年、平成16年  
 3) 「15～49歳女性人口」の転換年は平成9年

人口動態総覧（率）の国際比較

国名	出生率 (人口千対)	死亡率 (人口千対)	乳児死亡率 (出生千対)	婚姻率 (人口千対)	離婚率 (人口千対)	合計特殊 出生率
日本	'07) 8.6	'07) 8.8	'07) 2.6	'07) 5.7	'07) 2.02	'07) 1.34
韓国	'07) 10.1	'06) 5.0	…	'07) 7.0	'07) 2.5	'07) 1.26
シンガポール	'06) 10.1	'06) 4.3	'06) 2.6	'06) 6.6	'06) 1.96	'06) 1.26
アメリカ	'06) *14.3	'06) *8.1	'06) *6.6	'06) *7.3	'06) *3.6	'06) *2.10
フランス	'07) *12.8	'07) *8.3	'07) *3.8	'07) *4.2	'05) 2.47	'07) *1.98
ドイツ	'05) 8.3	'05) 10.1	'05) 3.9	'05) 4.7	'05) 2.45	'05) 1.34
イタリア	'05) 9.5	'05) 9.7	'05) 4.6	'05) 4.2	'04) 0.78	'05) 1.34
スウェーデン	'05) 11.2	'05) 10.2	'05) 2.4	'05) 4.9	'05) 2.21	'05) 1.77
イギリス	'05) 12.0	'05) 9.7	'05) 5.1	'03) 5.1	'03) 2.80	'05) 1.84

注：\*印は暫定値である。

- 資料：(1) 日本は、人口動態統計月報年計（概数）の概況  
 (2) 韓国は、韓国統計庁資料  
 (3) シンガポールは、シンガポール統計局資料  
 (4) アメリカは、NCHS, National Vital Statistics Reports  
 (5) フランスは、フランス国立統計経済研究所資料  
 (6) フランスを除くヨーロッパの各国は、UN, Demographic Yearbook 2005

分母に用いた人口

① 年齢5歳階級・男女別（日本人人口）

年齢階級	総数	男	女
総数	126 085 000 人	61 511 000 人	64 574 000 人
0～4歳	5 379 000	2 755 000	2 624 000
5～9	5 823 000	2 986 000	2 837 000
10～14	5 936 000	3 041 000	2 895 000
15～19	6 202 000	3 182 000	3 019 000
20～24	7 024 000	3 613 000	3 411 000
25～29	7 555 000	3 850 000	3 705 000
30～34	9 157 000	4 651 000	4 507 000
35～39	9 236 000	4 680 000	4 556 000
40～44	8 066 000	4 074 000	3 992 000
45～49	7 619 000	3 827 000	3 791 000
50～54	7 962 000	3 976 000	3 986 000
55～59	10 359 000	5 124 000	5 235 000
60～64	8 419 000	4 102 000	4 317 000
65～69	7 797 000	3 727 000	4 070 000
70～74	6 893 000	3 177 000	3 716 000
75～79	5 545 000	2 398 000	3 147 000
80～84	3 851 000	1 457 000	2 394 000
85～89	2 043 000	605 000	1 438 000
90～94	924 000	229 000	694 000
95～99	260 000	50 000	210 000
100～	35 000	5 000	30 000

資料：「平成19年10月1日現在推計人口」（総務省統計局）

② 都道府県・男女別人口（日本人人口）

都道府県	総数	男	女
全 国	126 085 000	61 511 000	64 574 000
北海道	5 553 000	2 630 000	2 923 000
青森	1 403 000	661 000	742 000
岩手	1 359 000	650 000	709 000
宮城	2 336 000	1 135 000	1 201 000
秋田	1 117 000	527 000	591 000
山形	1 192 000	574 000	618 000
福島	2 057 000	1 001 000	1 056 000
茨城	2 929 000	1 458 000	1 471 000
栃木	1 985 000	988 000	998 000
群馬	1 980 000	974 000	1 006 000
埼玉	7 003 000	3 530 000	3 473 000
千葉	6 019 000	3 012 000	3 007 000
東京	12 488 000	6 222 000	6 266 000
神奈川	8 754 000	4 423 000	4 331 000
新潟	2 394 000	1 159 000	1 235 000
富山	1 093 000	527 000	566 000
石川	1 161 000	560 000	601 000
福井	804 000	390 000	415 000
山梨	863 000	423 000	440 000
長野	2 145 000	1 045 000	1 100 000
岐阜	2 059 000	998 000	1 061 000
静岡	3 717 000	1 831 000	1 886 000
愛知	7 173 000	3 604 000	3 569 000
三重	1 831 000	891 000	940 000
滋賀	1 369 000	677 000	693 000
京都	2 591 000	1 245 000	1 347 000
大阪	8 641 000	4 187 000	4 454 000
兵庫	5 505 000	2 636 000	2 869 000
奈良	1 401 000	665 000	736 000
和歌山	1 015 000	477 000	537 000
鳥取	596 000	285 000	311 000
島根	726 000	346 000	380 000
岡山	1 935 000	929 000	1 006 000
広島	2 842 000	1 374 000	1 468 000
山口	1 462 000	689 000	773 000
徳島	796 000	379 000	418 000
香川	999 000	480 000	520 000
愛媛	1 445 000	680 000	765 000
高知	779 000	365 000	414 000
福岡	5 016 000	2 374 000	2 642 000
佐賀	856 000	403 000	453 000
長崎	1 447 000	676 000	772 000
熊本	1 820 000	857 000	964 000
大分	1 196 000	564 000	632 000
宮崎	1 139 000	535 000	604 000
鹿児島	1 726 000	806 000	920 000
沖縄	1 366 000	669 000	697 000

資料：「平成19年10月1日現在推計人口」（総務省統計局）

18大都市・男女別人口（総人口）

18大都市 (再掲)	総数	男	女
東京都区部	8 653 000	4 291 000	4 361 000
札幌市	1 894 000	891 000	1 003 000
仙台市	1 029 000	501 000	528 000
さいたま市	1 190 000	597 000	593 000
千葉市	937 000	468 000	469 000
横浜市	3 627 000	1 824 000	1 803 000
川崎市	1 369 000	708 000	662 000
新潟市	813 000	392 000	421 000
静岡市	711 000	346 000	365 000
浜松市	811 000	404 000	407 000
名古屋	2 237 000	1 111 000	1 125 000
京都市	1 469 000	699 000	770 000
大阪市	2 644 000	1 288 000	1 356 000
堺市	835 000	402 000	433 000
神戸市	1 548 000	740 000	809 000
広島市	1 162 000	563 000	599 000
北九州市	987 000	464 000	524 000
福岡市	1 427 000	684 000	743 000

資料：各指定都市及び東京都が推計した平成19年10月1日現在の総人口である。

(付表)  
年齢調整死亡率の算出に用いた人口  
基準人口（昭和60年モデル人口）

年齢階級	基準人口	年齢階級	基準人口
0～4歳	8 180 000	50～54歳	7 616 000
5～9	8 338 000	55～59	6 581 000
10～14	8 497 000	60～64	5 546 000
15～19	8 655 000	65～69	4 511 000
20～24	8 814 000	70～74	3 476 000
25～29	8 972 000	75～79	2 441 000
30～34	9 130 000	80～84	1 406 000
35～39	9 289 000	85歳以上	784 000
40～44	9 400 000		
45～49	8 651 000	総数	120 287 000

③ 年齢5歳階級別人口（日本人人口）の対前年比較

年齢階級	平成19年	平成18年	対前年増減
	人	人	人
総数	126 085 000	126 154 000	△ 69 000
0～4歳	5 379 000	5 451 000	△ 72 000
5～9	5 823 000	5 872 000	△ 49 000
10～14	5 936 000	5 961 000	△ 25 000
15～19	6 202 000	6 348 000	△ 146 000
20～24	7 024 000	7 115 000	△ 91 000
25～29	7 555 000	7 791 000	△ 236 000
30～34	9 157 000	9 440 000	△ 283 000
35～39	9 236 000	9 087 000	149 000
40～44	8 066 000	7 833 000	233 000
45～49	7 619 000	7 586 000	33 000
50～54	7 962 000	8 333 000	△ 371 000
55～59	10 359 000	10 752 000	△ 393 000
60～64	8 419 000	8 092 000	327 000
65～69	7 797 000	7 585 000	212 000
70～74	6 893 000	6 786 000	107 000
75～79	5 545 000	5 393 000	152 000
80～84	3 851 000	3 644 000	207 000
85～89	2 043 000	1 933 000	110 000
90～94	924 000	888 000	36 000
95～99	260 000	235 000	25 000
100～	35 000	29 000	6 000

資料：各年「10月1日現在推計人口」（総務省統計局）

④ 年齢5歳階級別人口（日本人女性人口）の対前年比較

年齢階級	平成19年	平成18年	対前年増減
	人	人	人
15～19歳	3 019 000	3 089 000	△ 70 000
20～24	3 411 000	3 459 000	△ 48 000
25～29	3 705 000	3 825 000	△ 120 000
30～34	4 507 000	4 648 000	△ 141 000
35～39	4 556 000	4 487 000	69 000
40～44	3 992 000	3 881 000	111 000
45～49	3 791 000	3 777 000	14 000
計	26 982 000	27 165 000	△ 183 000

資料：各年「10月1日現在推計人口」（総務省統計局）